

令和6年度 定時社員総会

日時: 令和6年6月1日(土)
会場: パシフィコ横浜 1階「メインホール」



公益社団法人

日本超音波医学会

〒101-0063
東京都千代田区神田淡路町2-23-1
お茶の水センタービル6F
U R L: <https://www.jsum.or.jp>
T E L: 03-6380-3711
F A X: 03-5297-3744
E-Mail: office@jsum.or.jp

公益社団法人日本超音波医学会 令和6年度定時社員総会次第

日時：令和6年6月1日(土) 12:30~13:30

会場：パシフィコ横浜 1階「メインホール」

開会	理事長
理事長挨拶	理事長
議長選出	理事長
議題	
1. 令和5年度事業報告(令和5年度事業報告及び附属明細書)について(承認事項) (資料1)	総務担当理事
2. 令和5年度収支決算報告(令和5年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び附属明細書並びに財産目録)について(承認事項) (資料2)	財務担当理事
3. 令和5年度収支決算監査報告について(承認事項) (資料3)	監事
4. 令和6年度事業計画書について(報告事項) (資料4)	総務担当理事
5. 令和6年度収支予算書(令和6年度予算)、資金調達及び設備投資の見込を記載した書類について(報告事項) (資料5)	財務担当理事
6. 令和6・7年度役員選任について(承認事項) (資料6)	理事長
7. 会費滞納状況による資格喪失者の状況(報告事項) (資料7)	理事長
8. 「会員の種別, 入退会, 会費等の取扱い規則」の改正、及び「正会員の入会金と初年度会費無料キャンペーン実施について」(承認事項) (資料8)	議長
9. 名誉・功労会員推薦について(承認事項) (資料9)	議長
10. その他	議長
議事録署名人の選出	議長
閉会	

令和4・5年度公益社団法人日本超音波医学会 役員

(自 令和4年5月21日 至 令和6年度通常社員総会締結時)

理事長(代表幹) 飯島 尋子
副理事長(代表幹) 岩永 史郎 平井都始子
理事 秋山いわき 石津智子 市橋 光 小川真広 金井 浩 菊池昭彦 北野雅之 工藤信樹
椎名 毅 陣崎雅弘 瀬尾由広 西田 睦 長谷川英之 畠 二郎 濱口浩敏 日浅陽一
廣岡芳樹 古川まどか 丸山紀史 渡邊 望
監事 尾本きよか 村田光繁

令和6～9年度公益社団法人日本超音波医学会代議員名簿 —敬称略— (248名)

(自 令和6年4月1日 至 令和10年度3月31日)

(医師) 217名

相方 浩	會澤信弘	赤坂和美	明石定子	赤松加奈子	朝井 章	蘆田玲子	麻生和信
安部晴彦	阿部雅則	池澤賢治	池ノ上 学	石井桂介	石津智子	泉 知里	井田良幸
板橋裕史	市塚清健	糸井隆夫	伊藤吾子	伊藤隆英	伊藤高広	糸永昌弘	井上勝次
今城健人	岩瀧麻衣	岩永史郎	岩橋徳明	植田裕介	浮村 理	宇宿弘輝	打田佐和子
宇都宮裕人	梅原永能	大枝 敏	大川和良	太田智行	大谷朋仁	大西俊成	大野栄三郎
小形幸代	岡庭信司	小川 力	小川真広	沖原宏治	奥田真一	奥野敏隆	小倉 健
小野尚文	尾本きよか	加地 剛	春日義史	金川武司	金子真大	鎌田佳宏	亀井桂太郎
亀田 徹	狩山和也	川合宏哉	河岡友和	川崎靖子	川嶋啓揮	川部直人	神崎秀明
菊池昭彦	岸野智則	貴田浩志	北野雅之	清野宗一郎	楠瀬賢也	葛谷貞二	久保田一徳
黒沢幸嗣	黒田英克	黒松亮子	桑田知之	鯉淵晴美	合田亜希子	木暮宏史	小林奈津子
小松篤史	紺野 啓	西條良仁	西條芳文	斎藤こずえ	齋藤昌利	齊藤弥穂	佐伯一成
阪上順一	坂田好美	坂田泰史	櫻井健一	笹沼英紀	佐藤秀一	佐藤輝紀	塩見英之
塩見優紀	重田浩一朗	島 宏彰	志村浩己	陣崎雅弘	菅原政貴	杉原誉明	杉本勝俊
須田清一郎	諏訪恵信	瀬尾由広	祖父尼 淳	大門雅夫	高木慎太郎	高口浩一	高野真澄
鷹野真由実	高橋 周	高橋宏和	瀧聞浄宏	瀧田寛子	武井黄太	武井康悦	田尻和人
多田俊史	多田 浩	多田藤政	田中新一郎	田中利隆	玉井 努	玉井秀幸	田丸俊輔
土谷 薫	堤 義之	寺井崇二	徳中真由美	土肥 薫	豊田秀徳	豊野学朋	内藤岳人
永井知雄	中岡和徳	中川 勇人	中河原浩史	長崎澄人	中島祐子	中島淑江	中田雅彦
長沼裕子	中野聖士	永松 健	中村進一郎	那須初子	櫛原哲史	西川かおり	西田直生志
西村重彦	西村貴士	沼田和司	野々垣浩二	野間栄次郎	伯野大彦	橋本千樹	畠 二郎
畑中 健	濱口浩敏	林 香月	林 秀樹	原田 侑	日浅陽一	脇岡 範	日高 央
平岡 淳	平田久美子	平野 豊	廣岡昌史	廣岡芳樹	蓬原一茂	古川まどか	古田真智
本郷文弥	政田賢治	松居剛志	松岡 隆	松原 浩	松本直樹	的野智光	真野敏昭
丸上永晃	丸山紀史	皆川洋至	南 康範	宮下 進	村田光繁	望月泰秀	本吉康英
森本直樹	守屋昭男	安井 豊	矢田 豊	山下竜也	山下泰伸	山田 晶	山田 聡
山田博胤	山野哲弘	山野倫代	山本敏樹	山本祐華	山本 亮	湯浅敏典	吉田 寛
吉田雄一	米田正人	和久井紀貴	和田誠司	和田靖明	渡辺隆紀	渡邊 望	渡邊博之
渡邊幸信							

(理工学関係者) 25名

秋山いわき	荒川元孝	池田貞一郎	今村智久	大栗拓真	岡田健吾	尾高北斗	神山直久
小玉哲也	園山輝幸	田中智彦	辻田剛啓	内藤みわ	新田尚隆	橋本 浩	長谷川英之
平田慎之介	藤井信彦	榎田晃司	山口 匡	吉澤 晋	吉田憲司	脇 康治	

(医師・理工学関係者以外) 6名

小川定信 乙部克彦 佐々木 東 佐藤 洋 鈴木 亮 谷川俊一郎 西田 睦 丹羽文彦

補欠の代議員(順位順)

(医師) 5名

- 1位 宮坂陽子
- 2位 田中秀和
- 3位 今村祐志
- 4位 田中弘教
- 5位 竹内啓人

(理工学関係者) 3名

- 1位 平田厚人
- 2位 荒井 修
- 3位 田口孝典

(医師・理工学関係者以外) 0名

選出された代議員以外に立候補者がなかったため

公益社団法人日本超音波医学会 令和5年度事業報告及び附属明細書
(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

令和5年度事業報告は、以下のとおりである。

I 会員の現況

(令和6年3月31日現在)

Table with 5 columns: 会員種別, 令和5年3月31日現在数, 令和6年3月31日現在数, 増減, 備考. Rows include 名誉会員, 功労会員, シニア会員, 正会員, 準会員, 学生会員, 賛助会員, and 計.

名誉会員(下記64名) (*物故者)
*青柳健次 *加藤金正 *菊池喜充 *田中憲二 *吉田常雄 *岡勝哉 *山徳郎 *金子仁郎
*実吉純一 *古賀孝一 *海老原敏明 *板原賀三 *岡益尚 *奥山太郎 *安藤泰弘 *金井尾本
*奥島基良 *中島孝一 *林周周 *有賀敏夫 *John J. Wild *Floyd Dunn *仁村泰靖 *堤山
*伊藤健一 *吉川純一 *岡井崇一 *和賀飯沼一夫 *福田守道 *田中元直 *竹名取博裕
渡邊紘一 *松尾裕英 *菅原基益 *飯沼茂浩 *竹内久善 *北畠慎太郎 *竹中谷
八木晋一 *田中幸俊 *藤正俊 *Won Jae Lee *Byung Ilm Choi *森安史典 *Yi-Hong Chou
Sang-Hyup Kim 工藤正 増山 理 Yung-Liang Wan (32名)

[公益目的事業 学会誌等出版事業]

II 学会誌の発行

和文誌「超音波医学」(7冊) : 第50巻Supplement号、3～6号、及び第50巻1・2号並びに英文誌「Journal of Medical Ultrasonics」(4冊) : 第49巻2～4号、及び第50巻1号の計11冊を発行した。

Table with 13 columns: 巻号, 50-Suppl, 50-3, 50-4, 50-5, 50-6, 51-1, 51-2, 50-2, 50-3, 50-4, 51-1, 論文数(計). Rows include 本文ページ数, 総説, 特集, 原著, 症例報告, 技術報告, 今月の超音波像, Letters to the Editor, Editorial, 編集後記, and 学術集会プログラム.

学術集会抄録	631	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	32	4	5	3	2	9	6	18	9	8	8

()内は掲載論文等の数
和文誌の総説、特集、原著論文中、16論文は翻訳論文である。

[公益目的事業 学術集会・講習会等事業]

Ⅲ 学術集会

第96回学術集会(会長 菊池昭彦)は、令和5年5月27日から29日の3日間、ソニックシティ及びパレスホテル大宮(さいたま市大宮区)、及びオンデマンド配信で開催した。参加人数6,849名(現地参加名3,726名、オンデマンド参加3,123名)。発表内容は下記の通り。

第96回学術集会	
一般演題	奨励賞選考口演会 18題(基礎 6,循環器 4,腹部 3,産婦人科 5) 一般演題 395題(基礎 57,循環器 76,消化器102,産婦人科 99,腎・泌尿器 8,乳腺 10,運動器(整形) 5,小児科 2,甲状腺頭頸部 9,血管(脳神経腫瘍) 16,救急 4,検査士 2,総合・教育 5) 合計 413題
会長講演	「AIの基本・現状と超音波医学への展望」
特別講演	「肝腫瘍の超音波人工知能診断の社会実装に向けて：日本超音波医学会の取り組み」 工藤正俊(近畿大学消化器内科) 「笑顔のもとに笑顔が集まる ～修業を通して学んだこと～」 林家たい平(落語家)
特別プログラム	領域横断 1)シンポジウム「AI時代における超音波医学の展望と課題」 2)ワークショップ「がんゲノム医療における超音波の役割」 消化器 1)シンポジウム「肝臓疾患の血流診断の最前線」 2)シンポジウム「脂肪性肝疾患の診断：Up to date」 3)シンポジウム「診断の鍵となる所見」 4)パネルディスカッション「最新の超音波技術を用いた肝癌治療支援」 5)パネルディスカッション「消化管がんに対する超音波診断(EUS含む)」 6)パネルディスカッション「エラストグラフィ(肝・膵領域)」 7)パネルディスカッション「高次元モードの実質的効果を検証する：二次元 vs 三-四次元」 8)パネルディスカッション「炎症性腸疾患診療における超音波の役割：CT, MRI, 内視鏡との比較」 9)パネルディスカッション「肝腫瘍(嚢胞性疾患も)の超音波およびEUS診断」 10)パネルディスカッション「胆嚢癌の超音波像」 11)ワークショップ「超音波による膵実質評価と病態との関連性」 12)症例検討会「超音波画像と病理像の対比」 循環器 1)シンポジウム「二次性心筋症とがん治療関連心筋障害」 2)シンポジウム「アスリート心臓の心エコー最新知見」 3)パネルディスカッション「3D心エコーを極限まで使いこなす！」 4)パネルディスカッション「左房に関わる諸問題を心エコー図で診る」 5)パネルディスカッション「弁膜症の重症度判定における運動負荷試験の課題と展望」 6)パネルディスカッション「心不全リスクを早期に検出する：ストレーン解析の役割」 7)パネルディスカッション「AIを深く知り、心エコー図検査に役立てる」 8)ワークショップ「Point-of-Careの心臓超音波検査(FoCUS)の普及に向けて」 9)ワークショップ「先天性心疾患の血行動態を評価する：妊娠中の管理を含めて」 10)ワークショップ「三尖弁に迫る」 11)症例検討会「心臓の希少疾患を学ぶ：心エコー図と他の画像診断の比較」 腎泌尿器 1)パネルディスカッション「腎泌尿器科の画像のAI研究の現状」 2)パネルディスカッション「腎泌尿器科領域の超音波からの病態考察」 3)ワークショップ「腎泌尿器科領域の術中超音波」 産婦人科 1)シンポジウム「産婦人科領域におけるAIの可能性と必然性を問う」 2)シンポジウム「産婦人科急変に深く関わる疾患の超音波診断やPOCUS」 3)シンポジウム「婦人科・生殖領域の超音波診断」 4)パネルディスカッション「FGRの診断基準を再考する」 5)パネルディスカッション「胎児形態スクリーニングのあり方、今後の課題」 6)ワークショップ「胎児心不全の定義」を考える」 乳腺 1)シンポジウム「Artificial Intelligenceによる乳房超音波診断」 2)パネルディスカッション「非腫瘍性病変乳房超音波診断ガイドライン解説および乳房超音波検査の学び方」 3)パネルディスカッション「MRI detected lesionに対するマネージメント」 4)パネルディスカッション「乳房超音波Bモード画像の高画質化」 5)ワークショップ「乳房超音波検査のレポートシステムを考える」 6)症例検討会「検討中の新しい精密検査診断案の紹介と症例検討」 運動器(整形) 1)シンポジウム「運動器のみえかたのなぜ？解剖学的構造と超音波画像の不思議？」 2)シンポジウム「ここまでは！救急運動器超音波診療の実際」 3)シンポジウム「初心者から脱出するための運動器エコーガイド ～抜け道と迷い道～」 4)シンポジウム「超音波ガイド下治療の最前線」 5)シンポジウム「超音波治療の世界(基礎と臨床)」 6)ワークショップ「新標準！血管穿刺トラブル対処法(ライブ)」 7)症例検討会「それって内科疾患？婦人科疾患？それとも運動器疾患？」

	<p>呼吸器</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) シンポジウム「AI時代の肺エコー 画像の最適化とAI参入を考える」 2) パネルディスカッション「肺エコーを急性期診断・治療に役立てる」 3) ワークショップ「呼吸器超音波～肺がん診断の発展～」 <p>小児科</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) シンポジウム「病型分類が行える心エコーを学ぶ」 2) シンポジウム「手技に有用な小児POCUS」 3) ワークショップ「腹痛の原因検索」のオーダーに応える」 <p>甲状腺頭頸部</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) シンポジウム「頭頸部診療における治療効果と副作用出現の超音波診断」 2) パネルディスカッション「情報共有の向上、効率化をめざした超音波サマリの工夫に対する取り組み」 3) パネルディスカッション「甲状腺の穿刺・Interventionについてー診断から治療までー」 4) ワークショップ「甲状腺領域の超音波専門医と超音波検査士の今後を考える」 5) ワークショップ「超音波画像により病理所見を推測し病理所見から超音波画像を見直す」 <p>血管（脳神経含む）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) シンポジウム「頸動脈エコーを再考する」 2) シンポジウム「私はこう伝えています。血管エコーにおける所見の伝え方 -コメント・シェア・記録画像の創意工夫-」 3) パネルディスカッション「どこまで活かしている？血管領域における標準的評価法 -現状と課題-」 4) パネルディスカッション「上級技師（指導検査士）はこう考えて検査する -後進を育てる+αの伝授-」 5) パネルディスカッション「知ると知らぬは大きな違い！血管エコーで遭遇する稀な疾患」 6) パネルディスカッション「血管治療の最前線！エコー屋がやるべきこと」 7) パネルディスカッション「バスキュラーアクセスエコーの活用法」 8) ワークショップ「血管エコーの手順、すべてみせます！-匠の検査法-」 <p>検査士</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) パネルディスカッション「この描出方法を知っていますか？」 2) パネルディスカッション「技術と知識をどう伝承するか？」 3) ワークショップ「タスクシフトの現状と将来」 <p>救急（POCUS・横断）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) シンポジウム「救急・集中治療領域の超音波診療の目指すところ（学会合同企画：日本超音波医学会、日本救急医学会、日本集中治療医学会）」 2) パネルディスカッション「ポイントオブケア超音波とアドバンスドテクノロジー（AI、遠隔医療など）」 3) ワークショップ「ポイントオブケア看護エコー最前線」 <p>基礎（工学）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) シンポジウム「超音波画像処理と位置情報を融合した新技術展開」 2) シンポジウム「超音波治療の展望」 3) シンポジウム「超音波プローブの最前線」 <p>総合・教育</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) シンポジウム「specialty-specific trainingの方法」 2) パネルディスカッション「他科に知って欲しい疾患」 3) ワークショップ「超音波教育、どうしてますか？」 4) ワークショップ「卒前・卒後の超音波研修：医師の超音波離れをどうするか」 5) ワークショップ「パニック所見、限られた時間でどの画像を残す？」 6) 症例検討会「検診エコーをどう読むか」
その他	<p>機器及び標準化委員会企画 「超音波医学をどう広めるか？～医学教育と一般広報について～ 教育委員会、安全委員会、機器及び標準化に関する委員会共催セッション」 キャリア支援・ダイバーシティ推進委員会企画 超音波検査士制度委員会主催企画 「認定超音波検査士取得のための報告書等作成時のポイントと注意点」 第12回新人賞口演 必修講習会 第22回教育セッション ランチョンセミナー ハンズオンセミナー ファイヤーサイドトーク</p>
機器展示	28社

IV 地方会学術集会

下記の地方会学術集会を開催した。

- 北海道地方会学術集会
第53回 会長 松居剛志
令和5年9月9日（土） 於：北海道大学学術交流会館（北海道札幌市） *ハイブリッド開催 参加者：476名
演題数：28題
- 東北地方会学術集会
第66回 会長 黒田英克
令和5年9月24日（日） 於：盛岡市民文化ホール（岩手県盛岡市） 参加者：197名 演題数：34題
第67回 会長 大原貴裕
令和6年3月3日（日） 於：仙台市中小企業活性化センター（宮城県仙台市） 参加者：276名 演題数：32題
- 関東甲信越地方会学術集会
第35回 会長 坂田好美
令和5年10月14日（土）～15日（日） 於：シェーンパツハ・サポーJR共済ビルカンファレンスホール *ハイブリッド開催 参加者：1,874名 演題数：162題
- 中部地方会学術集会
第44回 会長 林 秀樹
令和5年9月10日（日） 於：じゅうろくプラザ（岐阜県岐阜市） 参加者：438名 演題数：50題
- 関西地方会学術集会

- 第50回 会長 濱口浩敏
令和5年10月21日(土) 於：神戸国際会議場(兵庫県神戸市) *ハイブリッド開催 参加者：1,051名 演題数：127題
- f. 中国地方会学術集会
第59回 会長 杉原誉明
令和5年9月2日(土) 於：米子コンベンションセンターBIGSHIP(鳥取県米子市) 参加者：240名 演題数：56題
- g. 四国地方会学術集会
第33回 会長 田中宏和
令和5年10月14日(土) 於：レクザムホール(香川県県民ホール)(香川県高松市) *ハイブリッド開催 参加者：425名 演題数：27題
- h. 九州地方会学術集会
第33回 会長 田代英樹
令和5年10月8日(日) 於：久留米シティプラザ(福岡県久留米市) 参加者：729名 演題数：82題

[公益目的事業 学術集会・講習会等事業]

V 教育セッション・超音波診断講習会・小規模講習会(腹部ハンズオンセミナー)・必修講習会

- a. 教育セッション
第22回教育セッション
令和5年5月27日～28日、及び令和5年6月12日から7月31日オンデマンド配信 参加者：1,709名
- b. 超音波診断講習会
超音波講習会(循環器)
令和5年11月25日 於：沖縄コンベンションセンター(沖縄県宜野湾市)及び令和5年12月8日～令和6年1月8日オンデマンド配信 参加者：238名(延べ人数)
超音波講習会(消化器)
令和5年12月16日 於：JPタワーホール&カンファレンス(東京都千代田区)及び令和5年12月26日～令和6年1月26日オンデマンド配信 参加者：292名(延べ人数)
超音波講習会(小児)
令和6年1月27日 於：JPタワーホール&カンファレンス(東京都千代田区)及び令和6年2月6日～令和6年3月6日オンデマンド配信 参加者：132名(延べ人数)
超音波講習会(消化器)
令和6年2月18日 於：JPタワーホール&カンファレンス(東京都千代田区)及び令和6年2月27日～令和6年3月27日オンデマンド配信 参加者：250名(延べ人数)
- c. 小規模講習会(腹部ハンズオンセミナー)
コロナウイルス感染状況を考え中止
- d. 必修講習会
第1回～第6回必修講習会
第96回学術集会 受講者：927名
第53回北海道地方会学術集会 受講者：45名
第35回関東甲信越地方会学術集会 受講者：375名
第59回中部地方会学術集会 受講者：100名
第50回関西地方会学術集会 受講者：200名
第59回中国地方会学術集会 受講者：65名
第33回四国地方会学術集会 受講者：85名
第33回九州地方会学術集会 受講者：200名

VI 各種委員会等

[会員相互補助事業]

1 在り方検討委員会

- a. 在り方委員会内に未来開拓検討ワーキンググループを設置し、次期代議員選出選挙の領域枠、会員獲得に関する短期、長中期計画について検討を行った。

[公益目的事業 調査研究事業]

2 機器及び標準化に関する委員会

- a. 「経腔探触子の消毒法に関する小委員会」において、経腔探触子の消毒法に関する検討を行った。
b. 「SWE (shear wave elastography) の標準化小委員会」において、SWEの標準化に関する検討を行った。
c. 安全委員会及び教育委員会と共同でワーキンググループにて、超音波医学に関する医学部教育用、及び一般市民向けコンテンツの策定を行った。
d. 会員からの機器に関する問い合わせに対応した。
e. 穿刺時の超音波診断装置の消毒について検討を行った。

[公益目的事業 調査研究事業]

3 安全委員会

- a. 「超音波の安全性」についての調査、啓発活動を行った。
b. 「音響放射力の生体への影響検討小委員会」において、音響放射力カインパルスの生体への影響について検討を行った。
c. 機器及び標準化に関する委員会及び教育委員会と共同でワーキンググループにて、超音波医学に関する医学部教育用、及び一般市民向けコンテンツの策定を行った。
d. 本会ウェブサイト上で公開している「超音波診断装置の安全性に関する資料」を改訂した。

[公益目的事業 学会誌等出版事業]

4 編集委員会

- a. 和文誌「超音波医学」(7冊)：第50巻Supplement号、3～6号、及び第51巻1・2号並びに英文誌「Journal of Medical Ultrasonics」(4冊)：第50巻2～4号、及び第51巻1号の計11冊を発行した。(Supplement号については電子版のみ発行した。)(Ⅱ項参照)
b. 総説、及び特集などの執筆を依頼し、総説13編、特集14編を掲載した。
c. Impact Factor値の上昇の方策について検討を行った。
d. メールマガジンとして会告号、機関誌号、イベント号の配信を行った。
e. 論文賞候補として、菊池賞2編、及び伊東賞2編を選考し決定した。

[公益目的事業 調査研究事業]

5 用語・診断基準委員会

- a. 医用超音波用語関係
1) 医用超音波用語集改訂を随時行い、ホームページに反映した。

- 2) 他学会との交流、及び連携を図り、用語の整合性について検討を行った。
- b. 診断基準関係
 - 1) 「腫瘍像非形成性乳腺疾患ガイドライン」を公示した。(2023年8月4日)
 - 2) 「結節甲状腺腫診断基準」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行った。
 - 3) 「消化管診断基準」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行った。
 - 4) 「胆嚢癌超音波診断基準」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行った。
 - 5) 「乳房造影超音波診断基準」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行った。
 - 6) 「超音波による四肢動脈病変の標準的評価法」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行った。
 - 7) 「超音波検査のパンニック所見：緊急に対応すべき異常所見」を公示した(2023年11月17日)
 - 8) 「超音波による頸動脈の標準的評価法(追補版)」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行った。
 - 9) 「超音波によるバスキュラーアクセスの標準的評価法」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行った。
 - 10) 「胎児発育不全の診断ガイドライン」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行った。

[法人事業/法人管理関係]

6 保険委員会

- a. 次回療養報酬改定に向け要望項目について、会員にアンケート調査を行い、次回診療報酬改定に向けての準備を行った。
- b. 引き続き、内保連・外保連に委員を派遣し、関連他学会との情報交換を行った。
- c. 例年のように超音波専門医研修施設宛に各種超音波検査の年間検査件数、及び検査に携わる医師や技師の実態把握のためのアンケート調査を行った。

[公益目的事業 国際交流事業]

7 国際交流委員会

- a. 公益社団法人日本超音波医学会奨学制度(JSUM Fellowship)関係
 - 「公益社団法人日本超音波医学会奨学制度実施要領」に準拠して、次の活動を行った。
 - 1) パンデミックによって延期されていたJSUM Fellowship2020、2021の研修の実施を再開した。
 - 2) 2024年度JSUM Fellowship研修生を公募し、6名を選考した結果、5名を採択した。
 - 3) 今後の国際貢献の在り方について検討した。
- b. アジア超音波医学学術連合(AFSUMB)・世界超音波医学学術連合大会(WFUMB)関係
 - 1) 令和6年5月9日～11日に韓国・ソウルで開催される第16回AFSUMB大会に学術、広報などの面で協力した。
 - 2) 令和5年11月4日～7日にオマーン・マスカット市において開催された第19回WFUMB大会に学術、広報などの面で協力した。
 - 3) 令和7年5月29日～6月1日に日本・京都市において北野雅之大会長と共に開催される第20回WFUMB大会の準備に学術、広報などの面で協力した。
 - 4) 英文誌(Journal of Medical Ultrasonics)並びにAFSUMB、及び本会のウェブサイトにおいてJSUM Fellowshipの募集広告を行った。
 - 5) AFSUMB、及びWFUMBのEducation Programに協力した。
 - 6) 本会の国際化を一層推進するため、新たな交流事業について検討した。
- c. 超音波医学に関して国際的に活躍されている方で本会名誉会員にふさわしい方を検討し、スイス連邦のDr. Christoph F Dietrich(Chief of the Medical Department at Hirslanden Kliniken Beau Site)を理事会に推薦した。

[公益事業 学術集会・講習会等事業]

8 教育委員会

- a. 第96回学術集會会期中にソニックシティ・パレスホテル大宮を会場として、第22回教育セッションを開催した。開催終了後にオンデマンド配信も行った。(V項参照)
- b. 第97回学術集會会期中に開催予定の「第23回教育セッション」を企画し、開催に向けての準備を行った
- c. 「超音波診断講習会」を計4回行った。(V項参照)
- d. 令和6年度に開催する超音波診断講習会を企画し、開催に向けての準備を行った。
- e. 令和5年度中に小規模講習会(腹部ハンズオンセミナー)、新型コロナウイルス感染状況を見極めて実施を行わなかった。
- f. 令和5年度中に「必修講習会」を学術集会、及び地方学術集會会場で行った。
- g. 機器及び標準化に関する委員会及び教育委員会と共同でワーキンググループにて、超音波医学に関する医学部教育、及び一般市民向けコンテンツの策定準備を行った。

[収益事業 資格認定事業]

9 超音波専門医制度委員会

- a. 令和5年度に指定した 新規24施設(研修施設17施設、基幹施設5施設、連携施設2施設)、更新62施設(研修施設38施設、基幹施設22施設、連携施設2施設)、指定変更2施設(研修施設2施設)に、令和5年4月1日付で指定証を交付した。
- b. 令和6年度研修施設及び研修施設群の指定に向けて審査を実施し、新規18施設(研修施設12施設、基幹施設2施設、連携施設4施設)、更新55施設(研修施設37施設、基幹施設18施設)、指定変更2施設(研修施設1施設、基幹施設1施設)を指定した。
- c. 第33回超音波専門医認定試験を実施し、合格者112名の認定・登録を行った。
- d. 第34回超音波専門医認定試験のための試験委員会を組織し、同認定試験実施に関する会告を公示した。
- e. 第29回超音波専門医資格更新審査を実施し、更新者379名、猶予者4名の認定・登録を行った。
- f. 令和5年度超音波指導医認定審査を実施し、再認定281名、新規82名の認定・登録を行った。
- g. 超音波専門医認定試験問題集第7版を発行した。
- h. 超音波専門医制度に関わるウェブサイトページの充実化を図った。
- i. 超音波専門医制度に関する会員への啓発を積極的に行った。

[公益目的事業 表彰事業]

10 顕彰委員会

- a. 第25回特別学会賞の選考を行い、以下の2名に授与した。
 - 尾辻 豊 (産業医科大学学長室)
 - 熊田 卓 (岐阜協立大学看護学部看護学科)
- b. 第2回工藤賞の選考を行い、以下の1名に授与した。
 - 亀田 徹 (済生会宇都宮病院超音波診断科/自治医科大学臨床検査医学)
- c. 第23回技術賞の選考を行い、以下の3グループに授与した。
 - 「AI技術を設計に活用した超音波診断装置のノイズ除去技術~Deep Insight技術~」
グループ代表者：藤井信彦 (富士フィルムヘルスケア株式会社)
 - 「Contrast Vector Imaging」
グループ代表者：五十嵐 悠 (キヤノンメディカルシステムズ株式会社)
 - 「超音波血栓溶解療法用のカテーテル型超音波装置の技術」

- グループ代表者：立花克郎（米国EKOS株式会社創業者）
- d. 第37回菊池賞（論文賞）の選考を行い、以下の2編に授与した。
 「Displacement detection with sub-pixel accuracy and high spatial resolution using deep learning」(J Med Ultrasonics Vol.49, No.1)
 Mariko Yamamoto, Shin Yoshizawa
 (Graduate School of Engineering, Tohoku University)
 「The effect of attenuation inside the acoustic traps on the configuration of vertical artifacts in lung ultrasound: an experimental study with simple models」(J Med Ultrasonics Vol.49, No.4)
 Toru Kameda¹, Naohisa Kamiyama², Nobuyuki Taniguchi¹
 (Department of Ultrasound Medicine, Saiseikai Utsunomiya Hospital,²Ultrasound Division, GE Healthcare Japan)
- e. 第18回伊東賞（論文賞）の選考を行い、以下の2編に授与した。
 「Factors associated with misdiagnosis of preoperative EUS in patients with pancreatic cystic neoplasms undergoing surgical resection」(J Med Ultrasonics Vol.49, No.3)
 Eizaburo Ohno¹, Takuya Ishikawa¹, Yasuyuki Mizutani¹, Tadashi Iida¹, Kota Uetsuki¹, Jun Yashika¹, Kenta Yamada², Noriaki Gibo¹, Toshinori Aoki¹, Hiroki Kawashima²
 (Department of Gastroenterology and Hepatology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya University Hospital, ²Department of Endoscopy, Nagoya University Hospital)
 「Evaluation of an MRI/US fusion technique for the detection of non-mass enhancement of breast lesions detected by MRI yet occult on conventional B-mode second-look US」(J Med Ultrasonics Vol.49, No.2)
 Manami Goto¹, Shogo Nakano¹, Masayuki Saito¹, Hirona Banno¹, Yukie Ito¹, Mirai Ido¹, Takahito Ando¹, Junko Kousaka¹, Kimihito Fujii¹, Kojiro Suzuki²
 (Division of Breast and Endocrine Surgery, Department of Surgery, Aichi Medical University, ²Department of Radiology, Aichi Medical University)
- f. 第24回奨励賞の選考を行い、以下の7名に授与した。
 [基礎]「広帯域リニアプローブの複数周波数励起による後方散乱係数解析」
 大村真朗（富山大学学術研究部工学系）
 [基礎]「超音波アレイプローブによる音響誘起電磁応答測定の試み」
 皆藤信人（東京農工大学）
 [循環器]「AL心アミロイドーシスにおける2Dspeckle-tracking法による右室機能評価の臨床的意義」
 野口桃子（熊本大学病院中央検査部生理検査室）
 [循環器]「肺エコーによる左室充満圧推定の臨床的意義」
 坂本考弘（国立循環器病研究センター心不全科）
 [消化器]「超音波エラストグラフィと減衰量イメージングによるNAFLDのイベントリスク予測の試み」
 藤原裕大（岩手医科大学内科学講座消化器内科学分野）
 [産婦人科]「総肺静脈還流異常症の検出を志向したPLAS index/LAPSD ratioのAI自動評価」
 青山利奈（昭和大学病院産婦人科）
 [産婦人科]「卵巣がん画像診断における腹部超音波検査併用の診断的意義」
 新井聡子（千葉大学医学部附属病院婦人科・周産期母性科）
- g. 第12回新人賞（地方会）の選考を行い、以下の8名に授与した。
 [北海道地方会]
 【循環器】「交通孔の解剖学的診断に苦慮したバルサルバ洞-右室短絡の1例」
 南淵美玲（手稲溪仁会病院循環器内科）
 [東北地方会]
 【基礎】「超音波/超音波イメージングシステムによる組織中血管密度の定量評価法」
 鈴木 陸（東北大学医工学研究科）
 [関東甲信越地方会]
 【消化器】「治療前後評価に統合画像診断による造影超音波が有用であった上腸間膜動脈分枝動脈瘤の一例」
 石川慶朋（日本大学医学部）
 [中部地方会]
 【消化器】「多発性内分泌腫瘍症1型(MEN1)に合併したガストリノーマの一例」
 有賀美月（藤田医科大学病院消化器内科）
 [関西地方会]
 【基礎】「市販超音波装置を用いたshear wave elastographyによるマウス慢性肝疾患モデル評価」
 清重大翔（大阪大学放射線技術科学専攻）
 [中国地方会]
 【消化器】「超音波検査による非B非C肝癌スクリーニングの必要性」
 丸谷梨栄（岡山市立市民病院消化器内科）
 [四国地方会]
 【消化器】「超音波検査により描出し得た門脈-肝静脈短絡路により非典型的の血行動態を呈した肝細胞癌の一例」
 中谷康輔（愛媛大学医学部附属病院第三内科）
 [九州地方会]
 【消化器】「portal sandwich signを契機に診断された特発性門脈圧亢進症の一例」
 黒岩俊志（福岡大学筑紫病院消化器内科）

【収益事業 資格認定事業】

11 超音波検査士制度委員会

- a. 第38回超音波検査士認定試験を実施し、合格者1,270名の認定・登録を行った。
 b. 第33回超音波検査士資格更新を実施し、更新者8名、猶予2名の認定・登録、及び第34回超音波検査士資格更新を実施し、更新者2,813名、猶予102名の認定・登録を行った。
 c. 第11回超音波指導検査士（腹部領域及び血管領域及び体表臓器領域）認定試験を実施し、合格者7名の認定・登録を行った。
 d. 第7回超音波指導検査士（腹部領域）資格更新を実施し、更新者4名の認定・登録を行った。
 e. 超音波検査士の育成を図った。
 f. 「超音波指導検査士（腹部領域及び血管領域及び体表臓器領域）認定試験のための講習会」をオンライン配信にて行った。

【収益事業 資格認定事業】

12 超音波工学フェロー認定審査委員会

- a. 第25回超音波工学フェローの公募を実施し、申請者3名に対して認定審査を行い、適格と判定した3名を令和5年10月1日付で認定・登録を行い、本会ウェブサイト公示した。
 b. 第20回超音波工学フェロー資格更新を実施し、認定審査を行い適格と判定した更新者11名の認定・登録を行い、本会ウェブサイト公示した。

- c. 超音波工学フェロー制度の活性化の議論を行うとともに、対象者となる可能性のある会員への周知を行った。
- d. 超音波工学フェロー有資格者の認知度向上を目指し構築した「工学フェロー検索システム」の広報を行い、浸透を図った。本システムへの登録者数は81名となった(2024年3月末時点)。

[公益目的事業 研究開発促進事業]

- 13 研究開発促進委員会
 - a. 令和5年度研究会設置申請3件の審査を行い、以下の3件(継続1件・新規2件)の研究会の設置を認可した。
 - 1) 基礎技術研究会(継続)
 - 2) 超音波分子診断治療研究会(新規)
 - 3) 頸部リンパ節超音波研究会(新規)
 - b. 令和6年度研究会設置申請に関する会告を公示し、応募書類を審査した。(本会ウェブサイト 令和5年9月)

[法人事業/法人管理関係]

- 14 倫理委員会
 - a. 倫理に関する事項について検討を行った。

[公益目的事業 学術集会・講習会等事業]

- 15 学術集会委員会
 - a. 学術集会の在り方を考えて、その運営が円滑に行われるように助言を行った。

[公益目的事業 学会誌等出版事業]

- 16 広報委員会
 - a. 本会の学会情報を学会誌、及びインターネット等により広報を行った。
 - b. 本会ウェブサイト全般についての管理を行い、利便性の向上を図った。
 - c. 本会ウェブサイトリニューアルを行うために広報ワーキンググループを立ち上げ検討を行った。
 - d. 本会の活動などの広報のためにパンフレットの作成を行った。

[公益目的事業 学術集会・講習会等事業]

- 17 地方会委員会
 - a. 地方会に関する事業の発展、充実及び円滑な運営の促進
 - 1) 各地方会の事業が円滑に運営されるよう指導及び助言を行った。
 - 2) 地方会交付金の算定を行い、交付した。
 - 3) 地方会学術集会に関して助言を行った。
 - 4) 地方会講習会に関して助言を行った。
 - 5) 学術集会委員会と共同して正会員増加に関する検討を行った。
 - b. 地方会委員会会議及び地方会運営委員長会議を開催し、各地方会相互の連絡を緊密に行った。
 - c. 地方会を通じて正会員数の増加を推進した。
 - d. 各地方会学術集会演題受付ウェブシステムを利用し、抄録のウェブ掲載を行った。

[法人事業/法人管理関係]

- 18 利益相反委員会
 - a. 利益相反に関する全体的なマネージメントを行った。

[会員相互補助事業]

- 19 災害対策委員会
 - a. 令和6年1月1日に発生した能登半島地震において、穴水総合病院、及び金沢大学附属病院からの要請に基づき、GEヘルスケア・ジャパン株式会社と富士フィルムヘルスケア株式会社のご協力の元、携帯型超音波診断装置をそれぞれ5セットずつ貸与し医療支援活動を実施した。

[会員相互補助事業]

- 20 キャリア支援・ダイバーシティ推進委員会
 - a. 第96回学術集会会期中にキャリア支援・ダイバーシティ推進委員会主催シンポジウムを開催した。
 - b. 次年度の第97回学術集会でのUnder40、または女性座長の登用推進目的に、各地方会から座長候補リストを提出していただき、第97回学術集会会長に送付した。
 - c. Early career部会を組織し、次年度学術集会での企画立案を進めた。

[公益目的事業 調査研究事業]

- 21 超音波画像のデータベース構築・利活用推進委員会
 - a. 臨床研究等のICT基盤構築に関する調査研究事業として、次世代に向けた超音波画像データベースを構築し超音波の人工知能診断開発研究に取り組んだ。肝腫瘍、乳腺腫瘍、循環器領域の3領域において収集したビッグデータの深層学習をもとに人工知能診断ソフトを開発した。特に肝腫瘍では社会実装化を目指して薬事承認を取得すべく規制当局(独立行政法人 医薬品医療機器総合機構)並びに超音波機器メーカーとともに協議を続けている。その協議に基づいて第2回目の臨床試験を行った。また社会実装化に向けて日本超音波医学会と複数の超音波装置メーカーとの共同開発契約締結ならびに薬事承認に向けた協議を行った。

[法人事業/法人管理関係]

- 22 会員資格審査関係
 - a. 会員の取扱規則に従い、会員資格に関する下記の認定の審査を行った。
 - 1) 入会希望者及び退会希望者の審査
 - 2) 会員資格喪失該当者の審査
 - 3) 会員種別変更希望者の審査
 - 4) 休会希望者の審査
 - 5) 災害被害者の会費免除希望者の審査
 - 6) 会員数の動向調査
 - 7) 入会条件の検討
 - 8) 新人賞受賞者の入会時期の検討

[法人事業/法人管理関係]

- 23 規約関係
 - 理事長の諮問を受けて、学会運営に関する諸規約の制定、改正、及び廃止について逐次審議し、立案した。
 - a. 変更
 - 1) 公益社団法人日本超音波医学会定款(令和5年5月28日変更)
 - b. 制定
 - 1) 公益社団法人日本超音波医学会理事長・副理事長・執行役員選考内規(令和5年4月28日制定)

2) 公益社団法人日本超音波医学会公益社団法人日本超音波医学会各種委員会委員長・副委員長・委員等の選考等に
関する申合せ(令和5年4月28日制定)

3) 公益社団法人日本超音波医学会公益社団法人日本超音波医学会在り方検討委員会規程(令和5年4月28日制定)

c. 改正

1) 公益社団法人日本超音波医学会役員代議員選任規則実施細則(令和5年4月28日改正)

2) 公益社団法人日本超音波医学会編集委員会規程(令和5年4月28日改正)

3) 公益社団法人日本超音波医学会超音波専門医制度委員会規程(令和5年4月28日改正)

4) 公益社団法人日本超音波医学会超音波専門医資格更新実施内規(令和5年11月17日改正)

5) 公益社団法人日本超音波医学会用語・診断基準委員会規程(令和5年4月28日改正)

6) 公益社団法人日本超音波医学会国際交流委員会規程(令和5年4月28日改正)

7) 公益社団法人日本超音波医学会保険委員会規程(令和5年4月28日改正)

8) 公益社団法人日本超音波医学会教育委員会規程(令和5年4月28日改正)

9) 公益社団法人日本超音波医学会超音波検査士制度委員会規程(令和6年3月15日改正)

10) 公益社団法人日本超音波医学会顕彰委員会規程(令和5年4月28日改正)

11) 公益社団法人日本超音波医学会超音波工学フェロー認定審査委員会規程(令和5年4月28日改正)

12) 公益社団法人日本超音波医学会研究開発促進委員会規程(令和5年4月28日改正)

13) 公益社団法人日本超音波医学会倫理委員会規程(令和5年4月28日改正)

14) 公益社団法人日本超音波医学会学術集会委員会規程(令和5年4月28日改正)

15) 公益社団法人日本超音波医学会広報委員会規程(令和5年4月28日改正)

16) 公益社団法人日本超音波医学会地方会委員会規程(令和5年4月28日改正)

17) 公益社団法人日本超音波医学会利益相反委員会規程(令和5年4月28日改正)

18) 公益社団法人日本超音波医学会認定超音波指導検査士規則(令和6年3月15日改正)

19) 公益社団法人日本超音波医学会キャリア支援・ダイバーンティー推進委員会規程(令和5年4月28日改正)

20) 公益社団法人日本超音波医学会災害対策委員会規程(令和5年4月28日改正)

21) 公益社団法人日本超音波医学会機器及び標準化に関する委員会規程(令和5年4月28日改正)

22) 公益社団法人日本超音波医学会安全委員会規程(令和5年4月28日改正)

23) 公益社団法人日本超音波医学会超音波画像のデータベース構築・利活用推進委員会規程
(令和5年4月28日改正)

d. 廃止

1) 公益社団法人日本超音波医学会企画委員会規程(令和5年4月28日廃止)

[法人事業/法人管理関係]

24 個人情報保護関係

本会が保有する個人情報提を適切に管理した。

[会員相互補助事業]

VII 日本医学会関係

1 日本医学会連合次期役員候補者を推薦した。

2 日本医学会定時総会、及び臨時総会に出席した。

3 日本医学会定例評議員会に出席した。

4 日本医学会臨床内科部会に出席した。

[事業報告の附属明細書]

記載すべき事項はない。

令和5年度決算報告書

1. 財務諸表・附属明細書・財産目録
 - 1.1 貸借対照表
付. 貸借対照表 内訳表
 - 1.2 正味財産増減計算書
付. 正味財産増減計算書 内訳表
 - 1.3 財務諸表に対する注記
 - 1.4 附属明細書
 - 1.5 財産目録
2. 収支計算書(資金収支計算ベース)
 - 2.1 収支計算書(資金収支計算ベース)
 - 2.2 収支計算書(資金収支計算ベース)に対する注記

1. 1

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	172,050,988	132,332,976	39,718,012
前払金	5,722,642	13,874,680	△ 8,152,038
仮払金	21,150,563	15,507,700	5,642,863
未収入金	2,174,437	19,851,903	△ 17,677,466
流動資産 合計	201,098,630	181,567,259	19,531,371
2.固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	36,000,000	36,000,000	0
基本財産 合計	36,000,000	36,000,000	0
(2)特定資産			
退職給付引当預金	85,586,010	82,086,010	3,500,000
減価償却引当預金	2,500,000	2,500,000	0
国際交流基金	4,500,000	4,500,000	0
システム開発基金	13,000,000	13,000,000	0
事務所整備基金	30,000,000	30,000,000	0
学術奨励基金	88,100,000	88,100,000	0
伊東賞基金	14,136,631	14,736,631	△ 600,000
工藤賞基金	5,400,000	5,700,000	△ 300,000
啓発準備資金	15,300,000	12,000,000	3,300,000
教育関連準備資金	8,637,226	20,000,000	△ 11,362,774
データベース整備資金	26,685,096	30,000,000	△ 3,314,904
学術集会準備資金	36,000,000	23,000,000	13,000,000
特定資産 合計	329,844,963	325,622,641	4,222,322
(3)その他固定資産			
建物付属設備	2	2	0
什器備品	201,960	330,760	△ 128,800
ソフトウェア	4,253,335	5,802,135	△ 1,548,800
敷金	15,176,700	15,176,700	0
その他固定資産 合計	19,631,997	21,309,597	△ 1,677,600
固定資産合計	385,476,960	382,932,238	2,544,722
資産合計	586,575,590	564,499,497	22,076,093
II 負債の部			
1.流動負債			
未払金	19,409,922	6,241,957	13,167,965
前受会費	1,298,909	1,430,316	△ 131,407
前受金	2,931,000	3,590,000	△ 659,000
預り金	348,974	263,436	85,538
会費仮受金	3,210,000	2,807,500	402,500
仮受金	409,921	394,016	15,905
賞与引当金	4,443,033	4,288,181	154,852
流動負債合計	32,051,759	19,015,406	13,036,353
2.固定負債			
退職給付引当金	92,032,410	87,519,614	4,512,796
固定負債合計	92,032,410	87,519,614	4,512,796
負債合計	124,084,169	106,535,020	17,549,149
III 正味財産の部			
1.指定正味財産			
寄付金	5,400,000	5,700,000	△ 300,000
指定正味財産合計	5,400,000	5,700,000	△ 300,000
(うち特定資産への充当額)	(5,400,000)	(5,700,000)	(△ 300,000)
2.一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(36,000,000)	(36,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(238,858,953)	(237,836,631)	(1,022,322)
正味財産合計	462,491,421	457,964,477	4,526,944
負債及び正味財産合計	586,575,590	564,499,497	22,076,093

1. 1-付

貸借対照表 内訳表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

科目	公益目的事業	収益事業等	法人会計	内部取引消去	合計
I 資産の部					
1.流動資産					
現金預金	421,066	33,699,289	137,930,633		172,050,988
前払金	2,619,592	3,031,050	72,000		5,722,642
仮払金	21,150,563	0	0		21,150,563
未収入金	1,518,150	0	656,287		2,174,437
流動資産 合計	25,709,371	36,730,339	138,658,920	0	201,098,630
2.固定資産					
(1)基本財産					
定期預金	0	0	36,000,000	0	36,000,000
基本財産 合計	0	0	36,000,000	0	36,000,000
(2)特定資産					
退職給付引当預金			85,586,010	0	85,586,010
減価償却引当預金			2,500,000	0	2,500,000
国際交流基金	4,500,000			0	4,500,000
システム開発基金	13,000,000			0	13,000,000
事務所整備基金			30,000,000	0	30,000,000
学術奨励基金	88,100,000			0	88,100,000
伊東賞基金	14,136,631			0	14,136,631
工藤賞基金	5,400,000			0	5,400,000
啓発準備資金	15,300,000			0	15,300,000
教育関連準備資金	8,637,226			0	8,637,226
データベース整備資金	26,685,096			0	26,685,096
学術集会準備資金	36,000,000			0	36,000,000
特定資産 合計	211,758,953	0	118,086,010	0	329,844,963
(3)その他固定資産					
建物付属設備	0	0	2	0	2
什器備品	171,008	12,671	18,281	0	201,960
ソフトウェア	571,084	3,682,251	0	0	4,253,335
敷金	7,133,049	3,111,224	4,932,427	0	15,176,700
その他固定資産 合計	7,875,141	6,806,146	4,950,710	0	19,631,997
固定資産合計	219,634,094	6,806,146	159,036,720	0	385,476,960
資産合計	245,343,465	43,536,485	297,695,640	0	586,575,590
II 負債の部					
1.流動負債					
未払金	16,862,850	1,978,742	568,330	0	19,409,922
前受会費	0	0	1,298,909	0	1,298,909
前受金	0	2,931,000	0	0	2,931,000
預り金	17,504	0	331,470	0	348,974
会費仮受金	0	0	3,210,000	0	3,210,000
仮受金	0	0	409,921	0	409,921
賞与引当金	0	0	4,443,033	0	4,443,033
流動負債合計	16,880,354	4,909,742	10,261,663	0	32,051,759
2.固定負債					
退職給付引当金	0	0	92,032,410	0	92,032,410
固定負債合計	0	0	92,032,410	0	92,032,410
負債合計	16,880,354	4,909,742	102,294,073	0	124,084,169
III 正味財産の部					
1.指定正味財産					
寄付金	5,400,000	0	0	0	5,400,000
指定正味財産合計	5,400,000	0	0	0	5,400,000
(うち特定資産への充当額)	(5,400,000)	(0)	(0)	(0)	(5,400,000)
2.一般正味財産					
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(36,000,000)	(0)	(36,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(206,358,953)	(0)	(32,500,000)	(0)	(238,858,953)
正味財産合計	228,463,111	38,626,743	195,401,567	0	462,491,421
負債及び正味財産合計	245,343,465	43,536,485	297,695,640	0	586,575,590

1. 2

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1.経常増減の部				
(1)経常収益				
基本財産運用収入	720	720	0	
特定資産運用収入	4,223	2,471	1,752	
入会金収入	1,656,500	1,649,500	7,000	
会費収入	161,639,000	160,948,500	690,500	
事業収入	298,263,738	276,653,549	21,610,189	
参加費収入	(132,280,900)	(111,432,500)	(20,848,400)	
共催セミナー収入ほか	(75,013,887)	(71,450,951)	(3,562,936)	
広告収入	(7,772,200)	(7,454,700)	(317,500)	
試験・新規認定収入	(47,926,000)	(51,038,500)	(△ 3,112,500)	
更新認定収入	(23,468,500)	(23,030,500)	(438,000)	
学会誌別刷収入	(7,500)	(90,000)	(△ 82,500)	
資料頒布収入	(9,374,585)	(10,022,170)	(△ 647,585)	
著作権・印税収入	(2,420,166)	(2,134,228)	(285,938)	
寄付金収入	1,900,000	3,700,000	△ 1,800,000	
寄付金収入	(1,600,000)	(3,400,000)	(△ 1,800,000)	
指定正味財産からの振替	(300,000)	(300,000)	(0)	
補助金・助成金収入	2,260,000	2,960,000	△ 700,000	
受取利息収入	4,414	4,448	△ 34	
雑収入	130,133	457,463	△ 327,330	
経常収益計	465,858,728	446,376,651	19,482,077	
(2)経常費用				
事業費	415,604,524	362,462,948	53,141,576	
学会誌出版費	(41,156,646)	(28,634,611)	(12,522,035)	
発送経費	(3,656,815)	(3,862,975)	(△ 206,160)	
校正費	(3,209,180)	(4,144,858)	(△ 935,678)	
顕彰関係費	(7,115,694)	(4,770,440)	(2,345,254)	
奨学金	(1,800,000)	(0)	(1,800,000)	
給与手当	(31,934,938)	(30,422,107)	(1,512,831)	
臨時雇い賃金	(7,146,208)	(6,309,849)	(836,359)	
法定福利費	(6,159,133)	(5,664,134)	(494,999)	
職員交通費	(993,857)	(987,741)	(6,116)	
会計顧問料	(550,000)	(550,000)	(0)	
事務所賃借料	(13,544,309)	(13,544,309)	(0)	
文具消耗品費	(4,870,749)	(6,313,407)	(△ 1,442,658)	
光熱水料	(899,420)	(898,470)	(950)	
会場・会議費	(109,234,375)	(108,223,159)	(1,011,216)	学術集会会場費等
印刷費	(25,416,745)	(11,527,433)	(13,889,312)	
通信・運搬費	(8,654,726)	(8,235,542)	(419,184)	
旅費・交通費	(8,793,582)	(7,841,038)	(952,544)	
頒布資料印刷費	(5,826,530)	(0)	(5,826,530)	
支払手数料	(6,586,218)	(6,732,752)	(△ 146,534)	
システム運営費	(31,049,506)	(35,037,391)	(△ 3,987,885)	
租税公課	(3,335,811)	(4,012,248)	(△ 676,437)	
業務委託費	(50,244,364)	(51,271,873)	(△ 1,027,509)	
会費・分担金	(3,881,588)	(3,689,915)	(191,673)	AFSUMB分担金を含む
関連行事費	(22,257,149)	(5,080,724)	(17,176,425)	
諸謝金	(9,497,564)	(7,146,908)	(2,350,656)	
雑費	(84,150)	(74,800)	(9,350)	
賞与引当金繰入額	(2,999,047)	(2,894,523)	(104,524)	
退職給付費用	(3,046,137)	(2,860,289)	(185,848)	
減価償却費	(1,660,083)	(1,731,452)	(△ 71,369)	
管理費	45,427,260	43,640,426	1,786,834	
給与手当	(17,555,395)	(16,900,530)	(654,865)	
会計顧問料	(880,000)	(880,000)	(0)	
福利厚生費	(496,660)	(421,572)	(75,088)	
法定福利費	(2,965,509)	(2,727,175)	(238,334)	
職員交通費	(478,523)	(475,579)	(2,944)	
事務所賃借料	(6,521,335)	(6,521,335)	(0)	
事務用機器賃借料	(923,136)	(920,616)	(2,520)	
備品費	(144,400)	(0)	(144,400)	
文具消耗品費	(387,013)	(281,476)	(105,537)	
光熱水料	(433,055)	(432,596)	(459)	
事務OA化費	(1,495,560)	(1,473,648)	(21,912)	
会場・会議費	(309,056)	(332,884)	(△ 23,828)	
印刷費	(1,073,915)	(949,522)	(124,393)	

科目	当年度	前年度	増減	備考
通信・運搬費	(1,133,360)	(1,108,587)	(24,773)	
旅費交通費	(817,818)	(773,481)	(44,337)	
租税公課	(1,835,989)	(2,306,252)	(△ 470,263)	
支払手数料	(2,417,059)	(2,017,978)	(399,081)	
システム運営費	(520,212)	(245,212)	(275,000)	
会費・分担金	(1,038,000)	(1,045,200)	(△ 7,200)	
各種保険料	(243,450)	(240,450)	(3,000)	
業務委託費	(396,000)	(396,000)	(0)	
雑費	(433,653)	(367,620)	(66,033)	
賞与引当金繰入額	(1,443,986)	(1,393,658)	(50,328)	
退職給付費用	(1,466,659)	(1,377,175)	(89,484)	
減価償却費	(17,517)	(51,880)	(△ 34,363)	
経常費用計	461,031,784	406,103,374	54,928,410	
当期経常増減額	4,826,944	40,273,277	△ 35,446,333	
2.経常外増減の部				
(1)経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2)経常外費用	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	4,826,944	40,273,277	△ 35,446,333	
一般正味財産期首残高	452,264,477	411,991,200	40,273,277	
一般正味財産期末残高	457,091,421	452,264,477	4,826,944	
II 指定正味財産増減の部				
受取交付金	0	0	0	
受取補助金等	0	0	0	
受取寄附金	0	0	0	
一般正味財産への振替額				
受取交付金	()	()	(0)	
受取補助金等	()	()	(0)	
受取寄附金	(△ 300,000)	(△ 300,000)	(0)	
当期指定正味財産増減額	△ 300,000	△ 300,000	0	
指定正味財産期首残高	5,700,000	6,000,000	△ 300,000	
指定正味財産期末残高	5,400,000	5,700,000	△ 300,000	
III 正味財産期末残高	462,491,421	457,964,477	4,526,944	

1. 2-付

正味財産増減計算書 内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

	公益目的事業会計	収益事業等会計		収益事業等会計 小計	法人会計	内部取引控除	合計
		資格認定事業	会員相互補助事業				
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用収入	0	0	0	0	720		720
特定資産運用収入	4,223	0	0	0	0		4,223
入会金収入	828,250	0	0	0	828,250		1,656,500
会費収入	80,819,500	0	0	0	80,819,500		161,639,000
参加費収入	132,280,900	0	0	0	0		132,280,900
共催セミナー収入ほか	75,013,887	0	0	0	0		75,013,887
広告収入	7,772,200	0	0	0	0		7,772,200
試験・新規認定収入	0	47,926,000	0	47,926,000	0		47,926,000
更新認定収入	0	23,468,500	0	23,468,500	0		23,468,500
学会誌別刷収入	7,500	0	0	0	0		7,500
資料頒布収入	9,374,585	0	0	0	0		9,374,585
著作権・印税収入	2,420,166	0	0	0	0		2,420,166
寄付金収入	1,600,000	0	0	0	0		1,600,000
指定正味財産からの振替	300,000	0	0	0	0		300,000
補助金・助成金収入	2,260,000	0	0	0	0		2,260,000
受取利息収入	510	0	0	0	3,904		4,414
雑収入	126,133	0	0	0	4,000		130,133
経常収益計	312,807,854	71,394,500	0	71,394,500	81,656,374	0	465,858,728
(2) 経常費用							
事業費							
学会誌出版費	41,156,646	0	0	0			41,156,646
発送経費	3,656,815	0	0	0			3,656,815
校正費	3,209,180	0	0	0			3,209,180
表彰関係費	7,115,694	0	0	0			7,115,694
奨学金	1,800,000	0	0	0			1,800,000
給与手当	22,464,644	8,285,910	1,184,384	9,470,294			31,934,938
臨時雇い賃金	5,229,608	1,916,600	0	1,916,600			7,146,208
会計顧問料	550,000	0	0	0			550,000
法定福利費	4,425,451	1,505,566	228,116	1,733,682			6,159,133
職員交通費	714,104	242,943	36,810	279,753			993,857
事務所賃借料	9,731,837	3,310,831	501,641	3,812,472			13,544,309
文具消耗品費	4,605,730	265,019	0	265,019			4,870,749
光熱水料	646,250	219,858	33,312	253,170			899,420
会場・会議費	94,163,436	15,039,787	31,152	15,070,939			109,234,375
印刷費	22,371,797	3,044,948	0	3,044,948			25,416,745
通信・運搬費	4,229,895	4,335,269	89,562	4,424,831			8,654,726
旅費・交通費	6,872,455	1,848,287	72,840	1,921,127			8,793,582
頒布資料印刷費	5,826,530	0	0	0			5,826,530
支払手数料	5,131,139	1,455,079	0	1,455,079			6,586,218
システム運営費	30,213,506	836,000	0	836,000			31,049,506
租税公課	2,560,041	775,770	0	775,770			3,335,811
業務委託費	48,800,447	1,443,917	0	1,443,917			50,244,364
会費・分担金	3,881,588	0	0	0			3,881,588
関連行事費	22,257,149	0	0	0			22,257,149
諸謝金	6,571,564	2,926,000	0	2,926,000			9,497,564
雑費	6,600	77,550	0	77,550			84,150
賞与引当金繰入額	2,154,871	733,100	111,076	844,176			2,999,047
退職給付費用	2,188,706	744,611	112,820	857,431			3,046,137
減価償却費	296,033	1,362,702	1,348	1,364,050			1,660,083
事業費計	362,831,716	50,369,747	2,403,061	52,772,808	0	0	415,604,524
管理費							
給与手当					17,555,395		17,555,395
会計顧問料					880,000		880,000
福利厚生費					496,660		496,660
法定福利費					2,965,509		2,965,509
職員交通費					478,523		478,523
事務所賃借料					6,521,335		6,521,335
事務用機器賃借料					923,136		923,136
備品費					144,400		144,400
文具消耗品費					387,013		387,013
光熱水料					433,055		433,055
事務OA化費					1,495,560		1,495,560
会場・会議費					309,056		309,056
印刷費					1,073,915		1,073,915
通信・運搬費					1,133,360		1,133,360
旅費交通費					817,818		817,818
租税公課					1,835,989		1,835,989
支払手数料					2,417,059		2,417,059
システム運営費					520,212		520,212
会費・分担金					1,038,000		1,038,000
各種保険料					243,450		243,450
業務委託費					396,000		396,000
雑費					433,653		433,653
賞与引当金繰入額					1,443,986		1,443,986
退職給付費用					1,466,659		1,466,659
減価償却費					17,517		17,517
管理費計	0	0	0	0	45,427,260	0	45,427,260
経常費用計	362,831,716	50,369,747	2,403,061	52,772,808	45,427,260	0	461,031,784
当期経常増減額	△ 50,023,862	21,024,753	△ 2,403,061	18,621,692	36,229,114	0	4,826,944
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 50,023,862			18,621,692	36,229,114	0	4,826,944
他会計振替額	7,759,568			△ 7,759,568	0	0	0
当期正味財産増減額	△ 42,264,294			10,862,124	36,229,114	0	4,826,944
一般正味財産期首残高	285,327,405			27,764,619	159,172,453	0	452,264,477
一般正味財産期末残高	223,063,111			38,626,743	195,401,567	0	457,091,421
II 指定正味財産増減の部							
受取交付金	0	0	0	0	0	0	0
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0
受取寄附金	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産へ振替	300,000	0	0	0	0	0	300,000
受取寄附金	(300,000)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(300,000)
当期指定正味財産増減額	△ 300,000	0	0	0	0	0	△ 300,000
指定正味財産期首残高	5,700,000			0	0	0	5,700,000
指定正味財産期末残高	5,400,000	0	0	0	0	0	5,400,000
III 正味財産期末残高	228,463,111			38,626,743	195,401,567	0	462,491,421

1.3 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
法人税法に規定する定額法による。
- (2) 引当金の計上基準
①退職給付引当金
職員に対する退職給与の支給に備えるため、法人都合による期末要支給額を計上している。
②賞与引当金
職員に支給する賞与の支出に充当するため、支給見込額を計上している。
- (3) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減とその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	備考
基本財産					
定期預金	36,000,000	0	0	36,000,000	
小計	36,000,000	0	0	36,000,000	
特定資産					
退職給付引当預金	82,086,010	3,500,000	0	85,586,010	
減価償却引当預金	2,500,000	0	0	2,500,000	
国際交流基金	4,500,000	0	0	4,500,000	
システム関連基金	13,000,000	0	0	13,000,000	
事務所整備基金	30,000,000	0	0	30,000,000	
学術奨励基金	88,100,000	0	0	88,100,000	
伊東賞基金	14,736,631	0	600,000	14,136,631	
工藤賞基金	5,700,000	0	300,000	5,400,000	
啓発準備資金	12,000,000	10,000,000	6,700,000	15,300,000	
教育関連準備資金	20,000,000	0	11,362,774	8,637,226	
データベース整備資金	30,000,000	21,000,000	24,314,904	26,685,096	
学術集会準備資金	23,000,000	13,000,000	0	36,000,000	
小計	325,622,641	47,500,000	43,277,678	329,844,963	
合計	361,622,641	47,500,000	43,277,678	365,844,963	

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	うち指定正味財産 からの充当額	うち一般正味財産 からの充当額	うち負債に 対応する額
基本財産				
定期預金	36,000,000	0	36,000,000	0
小計	36,000,000	0	36,000,000	0
特定資産				
退職給付引当預金	85,586,010	-	-	85,586,010
減価償却引当預金	2,500,000	-	2,500,000	-
国際交流基金	4,500,000	-	4,500,000	-
システム関連基金	13,000,000	-	13,000,000	-
事務所整備基金	30,000,000	-	30,000,000	-
学術奨励基金	88,100,000	-	88,100,000	-
伊東賞基金	14,136,631	-	14,136,631	-
工藤賞基金	5,400,000	5,400,000	-	-
啓発準備資金	15,300,000	-	15,300,000	-
教育関連準備資金	8,637,226	-	8,637,226	-
データベース整備資金	26,685,096	-	26,685,096	-
学術集会準備資金	36,000,000	-	36,000,000	-
小計	329,844,963	5,400,000	238,858,953	85,586,010
合計	365,844,963	5,400,000	274,858,953	85,586,010

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物付属設備	3,690,600	3,690,598	2
什器備品	6,339,888	6,137,928	201,960
ソフトウェア	7,744,000	3,490,665	4,253,335
合計	17,774,488	13,319,191	4,455,297

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	備考
コンベンション開催助成金ほか	公益社団法人 さいたま観光 国際協会	0	2,050,000	2,050,000	0	注
コンベンション開催助成金	公益財団法人 とっとり コンベンション ビューロー	0	100,000	100,000	0	注
大会等開催補助金	公益財団法人 久留米観光 コンベンション 国際交流協会	0	110,000	110,000	0	注
合計		0	2,260,000	2,260,000	0	

注) 当該事業年度内に目的たる支出が完了するため、貸借対照表上の記載はありません。

1. 4
附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

「公益法人会計基準」の運用指針(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)に定める附属明細書の記載上の留意事項に従い、財務諸表の注記3及び4に記載しているため、内容の記載を省略している。

2. 引当金の明細

引当金の明細は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	87,519,614	4,512,796			92,032,410
賞与引当金	4,288,181	4,443,033	4,288,181		4,443,033

以上

1. 5

財産目録

令和6年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手許保管	運転資金	268,514
普通預金	りそな銀行 本郷支店	同上	38,197,506
	りそな銀行 本郷支店	同上	1,990,774
	りそな銀行 本郷支店	同上	53,441,829
	三井住友信託銀行 芝営業部	同上	100,569
	三井住友銀行 神田支店	同上	321,298
	みずほ銀行 本郷支店	同上	5,647,455
	三菱UFJ銀行 本郷支店	同上	46,460,928
	三菱UFJ銀行 春日町支店	同上	1,476,151
	ゆうちょ銀行	同上	600,236
定期預金	三菱UFJ銀行 本郷支店	同上	1,362,774
	三菱UFJ銀行 本郷支店	同上	314,904
郵便振替	00130-8-93294	同上	21,868,050
前払金	会費・分担金に関する前払い	法人会計の前払分	72,000
	保険料に関する前払い	法人会計の前払分	0
	学術集会補助金前払い	(公益目的事業)学術集会事業の前払分	2,500,000
	会費・分担金に関する前払い	(公益目的事業)調査研究事業の前払分	0
	講習会会場費に関する前払い	(公益目的事業)教育・啓蒙に関する事業の前払分	119,592
	試験会場費に関する前払い	(収益事業等)認定事業の前払分	3,031,050
仮払金	学術集会貸付金等	(公益目的事業)学術集会事業等の仮払分	21,150,563
未収入金	会費に関する未収	法人会計の未収分	656,287
	学術集会事業等未返金分	(公益目的事業)学術集会事業の未返金分	290,221
	頒布資料に関する未収	(公益目的事業)出版事業の未収分	0
	講習会等に関する未収	(公益目的事業)講習会事業の未収分	1,227,929
	e-learning配信に関する未収額ほか	(公益目的事業)出版事業の未収分	0
流動資産 合計			201,098,630
(固定資産)			
基本財産			
定期預金	三井住友信託銀行 芝営業部(定期預金)	公益目的事業に必要なその他の活動の用に供する財産。運用益を管理費に充当	36,000,000
特定資産			
退職給付引当預金	りそな銀行 本郷支店(定期預金)	(法人会計)退職給付引当金に対応する積立資産	52,686,010
"	三井住友銀行 神田支店(定期預金)	同上	4,900,000
"	三菱UFJ銀行 本郷支店(定期預金)	同上	28,000,000
減価償却引当預金	りそな銀行 本郷支店(定期預金)	法人の管理運営の用に供するために保有している積立資産	2,500,000
国際交流基金	三菱UFJ銀行 本郷支店(定期預金)	(公益目的事業)国際交流事業の基金	4,500,000
システム関連基金	りそな銀行 本郷支店(定期預金)	(公益目的事業)広報関連事業の基金	13,000,000
事務所整備基金	三菱UFJ銀行 春日町支店(定期預金)	法人の管理運営の用に供するために保有している積立資産	30,000,000
学術奨励基金	みずほ銀行 本郷支店(定期預金)	(公益目的事業)調査研究及び教育・啓蒙に関する事業の基金	65,500,000
"	三菱UFJ銀行 本郷支店(定期預金)	同上	22,600,000
工藤賞基金	ゆうちょ銀行(定期貯金)	(公益目的事業)顕彰事業の基金	5,400,000
伊東賞基金	みずほ銀行 本郷支店(定期預金)	同上	14,136,631
啓発準備資金	りそな銀行 本郷支店(定期預金)	(公益目的事業)広報関連事業の特定費用準備資金	15,300,000
教育関連準備資金	三菱UFJ銀行 本郷支店(定期預金)	(公益目的事業)教育事業の特定費用準備資金	8,637,226
データベース整備資金	三菱UFJ銀行 本郷支店(定期預金)	(公益目的事業)調査研究事業の特定費用準備資金	26,685,096
学術集会準備資金	三菱UFJ銀行 本郷支店(定期預金)	(公益目的事業)学術集会事業の特定費用準備資金	36,000,000
その他固定資産			
建物付属設備	事務所に付随する設備	共用財産。うち47.0%は公益目的保有財産として公益目的事業に供し、20.5%は収益事業他に供し、32.5%は管理運営に供している	2
什器備品	会議テーブル、椅子、音響システムほか	同上	58,400
什器備品	計測機器ほか	(公益事業)調査研究及び教育・啓蒙に関する事業に供している	143,560
ソフトウェア	講習会等申込システム	同上	571,084
ソフトウェア	認定試験システムほか	(収益事業)認定事業に供している	3,682,251
敷金	事務所借室 お茶の水センタービル	共用財産。うち47.0%は公益目的保有財産として公益目的事業に供し、20.5%は収益事業他に供し、32.5%は管理運営に供している	15,176,700
固定資産 合計			385,476,960
資産 合計			586,575,590
(流動負債)			
未払金	未払消費税	(法人会計)法人の運営管理業務に関連した未払金	455,000
	管理費に関する未払金	同上	113,330
	学会誌制作費ほか	(公益目的事業)出版事業に関する未払金	5,117,050
	印刷費ほか	(公益目的事業)教育・啓蒙事業に関する未払金	11,745,800
	印刷費ほか	(収益事業等)認定事業に関する未払金	1,978,742
前受会費	次年度以降会費受入額	法人の運営管理業務に関連した前受金	1,298,909
前受金	試験・更新に関する受入額	(収益事業)認定事業の前受金	2,931,000
	会員管理に関する手数料	(法人会計)在外会員手数料	0
預り金	雇用保険に関する預り金	(法人会計)法人の運営管理業務に関連した預り金	331,470
	所得税に関する預り金	(公益目的事業)学術集会事業等の預り金	17,504
会費仮受金	新規入会金・初年度会費等に関する受入額	法人の運営管理業務に関連した仮受金	3,210,000
仮受金	不明入金等	法人会計の仮受分	409,921
賞与引当金	令和6年6月の職員賞与支給の見込み額	各事業と法人の管理運営業務に関連した引当金	4,443,033
流動負債 合計			32,051,759
(固定負債)			
退職給付引当金	令和5年度末日における法人都合による期末要支給額	各事業と法人の管理運営業務に関連した引当金(簡便法)	92,032,410
固定負債 合計			92,032,410
負債 合計			124,084,169
正味財産			462,491,421

2. 1

収支計算書(資金収支計算ベース)
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	720	720	0	
入会金収入	1,450,000	1,656,500	△ 206,500	
会費収入	166,296,000	161,639,000	4,657,000	
正会員会費	(82,550,000)	(77,883,000)	(4,667,000)	
シニア会員会費	(13,750,000)	(14,156,000)	(△ 406,000)	
準会員会費	(68,300,000)	(67,876,000)	(424,000)	
学生会員会費	(56,000)	(84,000)	(△ 28,000)	
賛助会員会費	(1,640,000)	(1,640,000)	(0)	
学術集会関係	115,761,000	145,565,178	△ 29,804,178	96回学術集会(さいたま市)
参加費収入	(51,800,000)	(88,165,000)	(△ 36,365,000)	
共催セミナー収入ほか	(61,525,000)	(53,603,887)	(7,921,113)	
広告収入	(1,936,000)	(1,716,000)	(220,000)	
寄付金収入	(500,000)	(30,000)	(470,000)	
補助金・助成金収入	(0)	(2,050,000)	(△ 2,050,000)	
受取利息	(0)	(291)	(△ 291)	
地方会関係	48,472,000	51,291,417	△ 2,819,417	
参加費収入	(17,970,000)	(22,086,800)	(△ 4,116,800)	
共催セミナー収入ほか	(21,186,000)	(21,410,000)	(△ 224,000)	
広告収入	(6,806,000)	(5,889,000)	(917,000)	
資料頒布収入	(100,000)	(11,000)	(89,000)	
寄付金収入	(1,910,000)	(1,570,000)	(340,000)	
補助金・助成金収入	(500,000)	(210,000)	(290,000)	
受取利息	(0)	(217)	(△ 217)	
雑収入	(0)	(114,400)	(△ 114,400)	
編集委員会	1,907,000	2,252,621	△ 345,621	
学会誌別刷収入	(90,000)	(7,500)	(82,500)	
広告収入	(160,000)	(167,200)	(△ 7,200)	
著作権・印税収入	(1,300,000)	(1,898,566)	(△ 598,566)	著作権使用料
資料頒布収入	(357,000)	(179,355)	(177,645)	抄録集頒布代ほか
研究開発班関係	0	11,735	△ 11,735	
受取利息	(0)	(2)	(△ 2)	
雑収入	(0)	(11,733)	(△ 11,733)	自己資金持ち出し
教育委員会	15,000	183,700	△ 168,700	
資料頒布収入	(15,000)	(183,700)	(△ 168,700)	クリアフォルダ
教育セッション関係	3,900,000	5,127,000	△ 1,227,000	
参加費収入	(3,900,000)	(5,127,000)	(△ 1,227,000)	会場開催・Web開催
講習会関係	14,020,000	10,312,000	3,708,000	
参加費収入	(14,020,000)	(10,312,000)	(3,708,000)	
必修講習会	14,306,820	13,670,580	636,240	
参加費収入	(7,949,700)	(6,590,100)	(1,359,600)	会場開催・Web開催
資料頒布収入	(6,357,120)	(7,080,480)	(△ 723,360)	e-learning
専門医制度委員会	9,872,500	10,423,550	△ 551,050	
試験・新規認定収入	(5,007,500)	(4,681,000)	(326,500)	受験料/認定料
更新認定収入	(3,765,000)	(3,822,500)	(△ 57,500)	
資料頒布収入	(1,100,000)	(1,920,050)	(△ 820,050)	専門医認定試験問題集
工学フェロ-認定審査委員会	47,500	42,500	5,000	
新規認定収入	(20,000)	(15,000)	(5,000)	
更新認定収入	(27,500)	(27,500)	(0)	
検査士制度委員会	69,100,600	63,370,100	5,730,500	
試験・新規認定収入	(46,650,000)	(43,230,000)	(3,420,000)	受験料/認定料
更新認定収入	(21,825,000)	(19,618,500)	(2,206,500)	
著作権・印税収入	(625,600)	(521,600)	(104,000)	検査士問題集印税
特定資産運用収入	2,450	4,223	△ 1,773	
受取利息収入	2,000	3,904	△ 1,904	
雑収入	2,000	4,000	△ 2,000	
事業活動収入計 (A)	445,155,590	465,558,728	△ 20,403,138	

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
2. 事業活動支出				
事業費				
学術集会関係	117,675,287	120,527,606	△ 2,852,319	学術集会補助金:2,500,000円
臨時雇い賃金	(615,000)	(0)	(615,000)	
会計顧問料	(0)	(550,000)	(△ 550,000)	
文具消耗品費	(0)	(131,054)	(△ 131,054)	
会場・会議費	(72,122,977)	(65,566,552)	(6,556,425)	
印刷費	(10,429,352)	(1,659,896)	(8,769,456)	
通信・運搬費	(0)	(221,369)	(△ 221,369)	
旅費交通費	(6,200,000)	(2,403,037)	(3,796,963)	
支払手数料	(0)	(3,146,785)	(△ 3,146,785)	
システム運営費	(1,379,400)	(4,035,856)	(△ 2,656,456)	
業務委託費	(21,191,558)	(18,528,844)	(2,662,714)	
各種賞金	(0)	(1,145,694)	(△ 1,145,694)	
関連行事費	(5,737,000)	(22,257,149)	(△ 16,520,149)	
諸謝金	(0)	(881,370)	(△ 881,370)	
学術集会(本部)・委員会	783,000	547,015	235,985	
臨時雇い賃金	(80,000)	(0)	(80,000)	
会場・会議費	(40,000)	(0)	(40,000)	
通信・運搬費	(23,000)	(119,232)	(△ 96,232)	
旅費交通費	(440,000)	(291,383)	(148,617)	
システム運営費	(200,000)	(136,400)	(63,600)	
地方会関係	63,946,000	62,090,112	1,855,888	
臨時雇い賃金	(8,310,000)	(5,116,154)	(3,193,846)	
文具消耗品費	(2,486,000)	(3,653,650)	(△ 1,167,650)	
会場・会議費	(17,255,000)	(20,572,593)	(△ 3,317,593)	
印刷費	(9,503,000)	(6,039,056)	(3,463,944)	
通信・運搬費	(2,023,000)	(1,528,458)	(494,542)	
旅費交通費	(1,794,000)	(1,779,330)	(14,670)	
支払手数料	(206,000)	(981,286)	(△ 775,286)	
システム運営費	(1,876,000)	(5,056,462)	(△ 3,180,462)	
業務委託費	(18,133,000)	(15,408,898)	(2,724,102)	
各種賞金	(940,000)	(470,000)	(470,000)	
関連行事費	(110,000)	(0)	(110,000)	
諸謝金	(1,310,000)	(1,477,625)	(△ 167,625)	
雑費	(0)	(6,600)	(△ 6,600)	
地方会(本部)・委員会	750,000	1,589,940	△ 839,940	
文具消耗品費	(0)	(497,200)	(△ 497,200)	
会場・会議費	(80,000)	(0)	(80,000)	
支払手数料	(0)	(149,600)	(△ 149,600)	
システム運営費	(670,000)	(943,140)	(△ 273,140)	
編集委員会	54,227,000	48,563,092	5,663,908	
学会誌出版費	(36,500,000)	(41,156,646)	(△ 4,656,646)	
発送経費	(4,685,000)	(3,656,815)	(1,028,185)	
校正費	(10,860,000)	(3,209,180)	(7,650,820)	
諸謝金	(500,000)	(33,411)	(466,589)	
支払手数料	(0)	(2,500)	(△ 2,500)	
システム運営費	(1,082,000)	(497,750)	(584,250)	
会場・会議費	(190,000)	(0)	(190,000)	
通信・運搬費	(0)	(6,790)	(△ 6,790)	
旅費交通費	(410,000)	(0)	(410,000)	
研究開発促進委員会	187,420	0	187,420	
文具消耗品費	(1,500)	(0)	(1,500)	
会場・会議費	(25,920)	(0)	(25,920)	
通信・運搬費	(10,000)	(0)	(10,000)	
旅費交通費	(150,000)	(0)	(150,000)	
研究会関係	1,050,000	847,268	202,732	3研究会
臨時雇い賃金	(0)	(38,000)	(△ 38,000)	
文具消耗品費	(210,000)	(187,673)	(22,327)	
会場・会議費	(560,000)	(170,470)	(389,530)	
印刷費	(230,000)	(0)	(230,000)	
通信・運搬費	(40,000)	(0)	(40,000)	
旅費交通費	(0)	(370,226)	(△ 370,226)	
支払手数料	(10,000)	(3,625)	(6,375)	
システム運営費	(0)	(55,000)	(△ 55,000)	
諸謝金	(0)	(22,274)	(△ 22,274)	
顕彰委員会	6,377,000	5,980,099	396,901	
各種賞金	(5,500,000)	(5,500,000)	(0)	各種賞金
文具消耗品費	(12,000)	(16,105)	(△ 4,105)	
会場・会議費	(200,000)	(9,700)	(190,300)	
印刷費	(35,000)	(35,530)	(△ 530)	
通信・運搬費	(30,000)	(11,264)	(18,736)	
旅費交通費	(600,000)	(407,500)	(192,500)	

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
用語・診断基準委員会	1,419,000	983,374	435,626	
校正費	(300,000)	(0)	(300,000)	
会費・分担金	(310,000)	(310,000)	(0)	日本乳がん検診精度管理中央機構
会場・会議費	(400,000)	(4,598)	(395,402)	
印刷費	(0)	(152,900)	(△ 152,900)	
通信・運搬費	(9,000)	(1,176)	(7,824)	
旅費交通費	(200,000)	(55,780)	(144,220)	
システム運営費	(200,000)	(458,920)	(△ 258,920)	
機器及び標準化に関する委員会	11,376,000	11,521,178	△ 145,178	
会場・会議費	(0)	(1,623)	(△ 1,623)	※特定費用準備資金
会場・会議費	(170,000)	(31,860)	(138,140)	
印刷費	(10,000,000)	(10,814,100)	(△ 814,100)	※特定費用準備資金
通信・運搬費	(6,000)	(84)	(5,916)	†教育ビデオコンテンツ制作費含む
旅費交通費	(0)	(547,051)	(△ 547,051)	※特定費用準備資金
旅費交通費	(1,000,000)	(126,460)	(873,540)	
システム運営費	(200,000)	(0)	(200,000)	
安全委員会	624,000	259,348	364,652	
会費・分担金	(200,000)	(200,000)	(0)	日本医療安全調査機構
会場・会議費	(70,000)	(10,920)	(59,080)	
通信・運搬費	(4,000)	(168)	(3,832)	
旅費交通費	(350,000)	(48,260)	(301,740)	
教育委員会	793,000	249,289	543,711	
文具消耗品費	(0)	(120,048)	(△ 120,048)	
会場・会議費	(90,000)	(127,649)	(△ 37,649)	
通信・運搬費	(3,000)	(1,592)	(1,408)	
旅費交通費	(700,000)	(0)	(700,000)	
教育セッション関係	1,480,000	1,100,042	379,958	
業務委託費	(330,000)	(0)	(330,000)	
諸謝金	(560,000)	(632,872)	(△ 72,872)	講師旅費を含む
印刷費	(500,000)	(466,510)	(33,490)	教育セッションテキスト含む
通信・運搬費	(20,000)	(0)	(20,000)	
支払手数料	(0)	(660)	(△ 660)	
旅費交通費	(70,000)	(0)	(70,000)	
講習会関係	13,565,840	14,258,866	△ 693,026	講習会4回(現地+オンデマンド)
システム運営費	(1,232,000)	(1,184,590)	(47,410)	
業務委託費	(2,000,000)	(1,517,890)	(482,110)	
諸謝金	(3,796,440)	(3,434,012)	(362,428)	講師旅費を含む
臨時雇い賃金	(0)	(31,054)	(△ 31,054)	
会場・会議費	(5,486,400)	(5,946,708)	(△ 460,308)	
印刷費	(600,000)	(533,610)	(66,390)	講習会テキスト含む
通信・運搬費	(100,000)	(333,897)	(△ 233,897)	
旅費交通費	(351,000)	(843,428)	(△ 492,428)	
支払手数料	(0)	(433,677)	(△ 433,677)	
必修講習会	6,627,000	3,607,857	3,019,143	
頒布資料印刷費	(180,000)	(0)	(180,000)	
システム運営費	(716,000)	(412,000)	(304,000)	
業務委託費	(3,011,000)	(650,815)	(2,360,185)	
臨時雇い賃金	(0)	(44,400)	(△ 44,400)	
会場・会議費	(1,780,000)	(1,720,763)	(59,237)	
印刷費	(290,000)	(304,095)	(△ 14,095)	講習会テキスト含む
通信・運搬費	(135,000)	(63,178)	(71,822)	
支払手数料	(515,000)	(412,606)	(102,394)	
専門医制度委員会	11,826,800	10,068,978	1,757,822	
頒布資料印刷費	(5,484,800)	(5,826,530)	(△ 341,730)	専門医認定試験問題集(第7版)
システム運営費	(462,000)	(462,000)	(0)	
業務委託費	(175,000)	(165,000)	(10,000)	
諸謝金	(575,000)	(550,000)	(25,000)	
臨時雇い賃金	(680,000)	(238,920)	(441,080)	
文具消耗品費	(0)	(75,814)	(△ 75,814)	
会場・会議費	(1,300,000)	(1,232,534)	(67,466)	
印刷費	(170,000)	(169,400)	(600)	
通信・運搬費	(580,000)	(641,033)	(△ 61,033)	
旅費交通費	(2,400,000)	(699,992)	(1,700,008)	
雑費	(0)	(7,755)	(△ 7,755)	
工学フェロー認定審査委員会	141,800	6,646	135,154	
会場・会議費	(8,800)	(0)	(8,800)	
通信・運搬費	(8,000)	(6,646)	(1,354)	
旅費交通費	(125,000)	(0)	(125,000)	

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
検査士制度委員会	33,484,700	28,363,963	5,120,737	
システム運営費	(1,050,000)	(374,000)	(676,000)	
業務委託費	(1,880,000)	(1,278,917)	(601,083)	
諸謝金	(2,705,000)	(2,376,000)	(329,000)	
臨時雇い賃金	(2,107,600)	(1,677,680)	(429,920)	
文具消耗品費	(200,000)	(189,205)	(10,795)	
会場・会議費	(16,500,000)	(13,807,253)	(2,692,747)	
印刷費	(2,900,000)	(2,875,548)	(24,452)	
通信・運搬費	(2,900,000)	(3,112,191)	(△ 212,191)	
旅費交通費	(1,547,400)	(1,148,295)	(399,105)	
支払手数料	(1,651,700)	(1,455,079)	(196,621)	
雑費	(43,000)	(69,795)	(△ 26,795)	
国際交流委員会	10,284,500	5,271,488	5,013,012	
奨学金	(6,800,000)	(1,800,000)	(5,000,000)	
会費・分担金	(3,123,000)	(3,371,588)	(△ 248,588)	AFSUMB分担金
システム運営費	(0)	(9,900)	(△ 9,900)	
諸謝金	(220,000)	(90,000)	(130,000)	
会場・会議費	(11,500)	(0)	(11,500)	
通信・運搬費	(10,000)	(0)	(10,000)	
旅費交通費	(120,000)	(0)	(120,000)	
広報委員会	15,130,400	8,420,448	6,709,952	
システム運営費	(12,000,000)	(789,800)	(11,210,200)	※特定費用準備資金
システム運営費	(2,905,400)	(1,713,288)	(1,192,112)	
業務委託費	(0)	(3,300,000)	(△ 3,300,000)	※特定費用準備資金
会場・会議費	(198,000)	(0)	(198,000)	
印刷費	(0)	(2,359,500)	(△ 2,359,500)	※特定費用準備資金
印刷費	(0)	(6,600)	(△ 6,600)	
通信・運搬費	(0)	(250,860)	(△ 250,860)	※特定費用準備資金
旅費交通費	(27,000)	(0)	(27,000)	
支払手数料	(0)	(400)	(△ 400)	※特定費用準備資金
在り方委員会	126,000	0	126,000	
会場・会議費	(100,000)	(0)	(100,000)	企画委員会より改称
通信・運搬費	(20,000)	(0)	(20,000)	
旅費交通費	(6,000)	(0)	(6,000)	
キャリア支援・ダイバーシティー推進委員会	257,370	31,152	226,218	
諸謝金	(111,370)	(0)	(111,370)	
会場・会議費	(70,000)	(31,152)	(38,848)	
通信・運搬費	(6,000)	(0)	(6,000)	
旅費交通費	(70,000)	(0)	(70,000)	
災害対策委員会	10,000	75,220	△ 65,220	
会場・会議費	(10,000)	(0)	(10,000)	
通信・運搬費	(0)	(2,380)	(△ 2,380)	
旅費交通費	(0)	(72,840)	(△ 72,840)	
超音波画像のデータベース構築・利活用推進委員会	24,042,000	24,314,904	△ 272,904	
システム運営費	(4,958,250)	(14,920,400)	(△ 9,962,150)	※特定費用準備資金
文具消耗品費	(50,000)	(0)	(50,000)	※特定費用準備資金
会議・会場費	(60,000)	(0)	(60,000)	※特定費用準備資金
通信・運搬費	(0)	(504)	(△ 504)	※特定費用準備資金
旅費交通費	(1,050,000)	(0)	(1,050,000)	※特定費用準備資金
業務委託費	(16,695,750)	(9,394,000)	(7,301,750)	※特定費用準備資金
諸謝金	(1,228,000)	(0)	(1,228,000)	※特定費用準備資金
事業費計	376,184,117	348,677,885	27,506,232	
管理費				
給与手当	52,496,000	53,778,514	△ 1,282,514	
会計顧問料	880,000	880,000	0	
福利厚生費	505,000	496,660	8,340	
法定福利費	8,700,000	9,124,642	△ 424,642	
職員交通費	1,434,500	1,472,380	△ 37,880	
事務所賃借料	20,065,700	20,065,644	56	
事務用機器賃借料	923,500	923,136	364	
備品費	200,000	144,400	55,600	
文具消耗品費	330,000	387,013	△ 57,013	
光熱水料	1,400,000	1,332,475	67,525	
事務OA化費	2,000,000	1,495,560	504,440	
会場・会議費	450,000	298,766	151,234	
印刷費	1,200,000	1,073,915	126,085	
通信・運搬費	3,400,000	3,487,264	△ 87,264	
旅費交通費	1,300,000	799,438	500,562	
各種保険料	250,000	243,450	6,550	
租税公課	7,200,000	5,171,800	2,028,200	消費税
支払手数料	2,200,000	2,417,059	△ 217,059	
システム運営費	280,000	278,212	1,788	
会費・分担金	465,500	438,000	27,500	日本医学会連合・公益法人協会ほか
業務委託費	396,000	396,000	0	
雑費	400,000	433,653	△ 33,653	

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
保険委員会	775,000	600,000	175,000	
会費・分担金	(600,000)	(600,000)	(0)	内保連、外保連
会場・会議費	(20,000)	(0)	(20,000)	
通信・運搬費	(5,000)	(0)	(5,000)	
旅費交通費	(150,000)	(0)	(150,000)	
倫理委員会	63,000	0	63,000	
会場・会議費	(13,000)	(0)	(13,000)	
旅費交通費	(50,000)	(0)	(50,000)	
利益相反委員会	63,000	0	63,000	
会場・会議費	(13,000)	(0)	(13,000)	
旅費交通費	(50,000)	(0)	(50,000)	
規約関係	3,000	0	3,000	
通信・運搬費	(3,000)	(0)	(3,000)	
選挙関係	175,000	270,670	△ 95,670	
会場・会議費	(25,000)	(10,290)	(14,710)	
旅費交通費	(150,000)	(18,380)	(131,620)	
システム運営費	(0)	(242,000)	(△ 242,000)	
管理費計	107,555,200	106,008,651	1,546,549	
事業活動支出計 (B)	483,739,317	454,686,536	29,052,781	
事業活動収支差額 (C)=(A)-(B)	△ 38,583,727	10,872,192	△ 49,455,919	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定預金取崩収入	66,900,000	43,277,678	23,622,322	
学術奨励基金取崩収入	(15,000,000)	(0)	(15,000,000)	講習会、教育セッションほか
システム関連基金取崩収入	(5,000,000)	(0)	(5,000,000)	ホームページリニューアル
伊東賞基金取崩収入	(600,000)	(600,000)	(0)	
工藤賞基金取崩収入	(300,000)	(300,000)	(0)	※指定正味財産
超音波医学啓発準備資金取崩収入	(12,000,000)	(6,700,000)	(5,300,000)	※特定費用準備資金
教育関連準備資金取崩収入	(10,000,000)	(11,362,774)	(△ 1,362,774)	※特定費用準備資金
データベース整備資金取崩収入	(24,000,000)	(24,314,904)	(△ 314,904)	※特定費用準備資金
投資活動収入計 (D)	66,900,000	43,277,678	23,622,322	
2. 投資活動支出				
特定預金繰入支出	47,500,000	47,500,000	0	
退職給付引当預金支出	(3,500,000)	(3,500,000)	(0)	
超音波医学啓発準備資金組入支出	(10,000,000)	(10,000,000)	(0)	※特定費用準備資金
データベース整備資金組入支出	(21,000,000)	(21,000,000)	(0)	※特定費用準備資金
学術集会準備資金組入支出	(13,000,000)	(13,000,000)	(0)	※特定費用準備資金
投資活動支出計 (E)	47,500,000	47,500,000	0	
投資活動収支差額 (F)=(D)-(E)	19,400,000	△ 4,222,322	23,622,322	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入			0	
財務活動収入計 (G)	0	0	0	
2. 財務活動支出			0	
財務活動支出計 (H)	0	0	0	
財務活動収支差額 (J)=(G)-(H)	0	0	0	
IV 予備費支出				
当期収支差額 (K)=(C)+(F)+(J)	△ 19,183,727	6,649,870	△ 25,833,597	
前期繰越収支差額 (L)	0	166,840,034	△ 166,840,034	
次期繰越収支差額 (K)+(L)	0	173,489,904	△ 173,489,904	

2. 2

収支計算書(資金収支計算ベース)に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収入金、前払金、仮払金、未払金、前受会費、前受金、預り金、会費仮受金及び仮受金を含めている。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳は、次のとおりである。

	前期末残高	当期末残高
現金預金	132,332,976	172,050,988
前払金	13,874,680	5,722,642
仮払金	15,507,700	21,150,563
未収入金	19,851,903	2,174,437
合計(A)	181,567,259	201,098,630
未払金	6,241,957	19,409,922
前受会費	1,430,316	1,298,909
前受金	3,590,000	2,931,000
預り金	263,436	348,974
会費仮受金	2,807,500	3,210,000
仮受金	394,016	409,921
合計(B)	14,727,225	27,608,726
次期繰越収支差額(A-B)	166,840,034	173,489,904

監査報告書

公益社団法人日本超音波医学会

理事長 飯島 尋子 殿

令和6年4月24日

監事 尾本 きよか 

監事 村田 光繁 

私は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの令和5年会計年度における会計および業務監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査 帳簿および関係書類並びに計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査 理事会およびその他の会議に出席し、理事からの業務報告および関係書類により業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録は、会計帳簿の記載と一致し、法人の収支状況および財政状態を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は事実であると認める。
理事の職務執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する事実はないと認める。

以上

監査報告書

2024年4月23日

公益社団法人日本超音波医学会
理事長 飯島 尋子 殿

馬目公認会計士事務所

公認会計士

馬目利昭 

1. 監査の方法と概要

私は、公益社団法人日本超音波医学会の2023年度（2023年4月1日から2024年3月31日まで）の貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにその附属明細書並びに財務諸表に対する注記について監査し、併せて、貸借対照表内訳表及び正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行いました。

監査に当たって、私は、試査を基礎とし、通帳、請求書、領収書等の関係証憑と会計帳簿間の照合、及び財務諸表等が適正に作成されているか検討を行いました。

2. 監査意見

監査の結果、私は、上記の財務諸表等が、一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、公益社団法人日本超音波医学会の2023年度末日現在の財政状態及び同事業年度の正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

公益社団法人日本超音波医学会 令和6年度事業計画書

(自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日)

令和6年度における本会の事業計画は次のとおりである。

[公益目的事業 学会誌等出版事業]

I 学会誌の発行

和文誌「超音波医学」(7冊)：第51巻 Supplement号、3～6号及び第52巻1・2号並びに英文誌「Journal of Medical Ultrasonics」(4冊)：第51巻2～4号及び第52巻1号の計11冊を発行する。

II 学術集会

学術集会を下記のとおり年1回開催し、講演抄録は本会電子ジャーナルにて公開する。

第97回学術集会 会長 岩永史郎

令和6年5月31日(金)～6月2日(日) 於：パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)

令和6年度以降の予定

第98回学術集会 会長 北野雅之

令和7年5月29日(木)～6月1日(日) 於：国立京都国際会館(京都府京都市)

第99回学術集会 会長 古川まどか

開催日、及び開催地未定

[公益目的事業 学術集会・講習会等事業]

III 地方学術集会

下記の予定で地方会を開催する。

a. 北海道地方学術集会

第54回 会長 古橋真人

令和6年9月14日(土) 於：北海道大学学術交流会館(北海道札幌市)

b. 東北地方学術集会

第68回 会長 堤 誠司

令和6年9月15日(日) 於：山形テルサ(山形県山形市)

第69回 会長 齋藤昌利

令和7年3月2日(日) 於：仙台市中小企業活性化センター(宮城県仙台市)

c. 関東甲信越地方学術集会

第36回 会長 沼田和司

令和6年10月5日(土)～6日(日) 於：有明セントラルタワー ホール&カンファレンス(東京都江東区)

d. 中部地方学術集会

第45回 会長 服部昌志

令和6年9月1日(日) 於：ウインクあいち(愛知県名古屋市)

e. 関西地方学術集会

第51回 会長 大川和良

令和6年9月21日(土) 於：大阪国際会議場(大阪府大阪市)

f. 中国地方学術集会

第60回 会長 眞部紀明

令和6年9月7日(土) 於：岡山国際交流センター(岡山県岡山市)

g. 四国地方学術集会

第34回 会長 平岡 淳

令和6年10月19日(土) 於：愛媛大学医学部臨床講義棟記念講堂(愛媛県松山市)

h. 九州地方学術集会

第34回 会長 大堂雅晴

令和6年9月16日(月・祝) 於：福岡国際会議場(福岡県福岡市)

IV 教育セッション・超音波診断講習会・小規模講習会(腹部ハンズオンセミナー)・必修講習会

a. 教育セッション

第23回教育セッション 令和6年5月31日(金)～6月2日(日) 於：パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)

b. 超音波診断講習会

超音波診断講習会(循環器) 令和6年11月2日(土) 於：大阪国際会議場(大阪府大阪市)

超音波診断講習会(消化器) 令和7年2月22日(土) 於：TKPガーデンシティPREMIUM仙台西口(宮城県仙台市)

超音波診断講習会(血管) 令和7年1月18日(土) 於：大手町プレイスカンファレンスセンター(東京都千代田区)

超音波診断講習会(領域横断) 令和6年8月24日(土) 於：広島県医師会館(広島県広島市)

c. 小規模講習会(腹部ハンズオンセミナー)

新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めて計画を立てる。

d. 必修講習会

第97回学術集会 令和6年5月31日(金)～6月2日(日) 於：パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)

V 各種委員会等

[会員相互補助事業]

1 在り方検討委員会

a. 会員資格担当理事と連携して、今後の短期、長中期で会員増の方策を検討し、委員会独自の提言を行う。

[公益目的事業 調査研究事業]

2 機器及び標準化に関する委員会

a. 「経腔探触子の消毒法に関する小委員会」において、経腔探触子の消毒法に関する検討を行う。

b. 「SWE(shear wave elastography)の標準化小委員会」において、SWEの標準化に関する検討を行う。

c. 超音波診断機器の規格に関する最新動向を把握するため、国際電気標準会議(IEC)に委員1名を派遣する。

d. 安全委員会及び教育委員会と共同でワーキンググループにて、超音波医学に関する医学部教育用及び一般市民向けのコンテンツを策定する。

e. 穿刺時の超音波プローブの消毒について「体表・消化器・泌尿器・産婦人科」の4領域について検討を行う。

f. 新しい機器に関する啓発活動を行う。

g. 会員からの機器に関する問い合わせに対応する。

[公益目的事業 調査研究事業]

- 3 安全委員会
- 「超音波の安全性」についての調査、啓発活動を行う。
 - 「音響放射力の生体への影響検討小委員会」において、音響放射カインパルスの生体への影響について検討を行う
 - 機器及び標準化に関する委員会及び教育委員会と共同でワーキンググループにて、超音波医学に関する医学部教育用及び一般市民向けのコンテンツを策定する。

[公益目的事業 学会誌等出版事業]

- 4 編集委員会
- 和文誌「超音波医学」(7冊):第51巻 Supplement号、3～6号及び第52巻1・2号並びに英文誌「Journal of Medical Ultrasonics」(4冊):第51巻2～4号及び第52巻1号の計11冊を発行する。
 - メールマガジンを配信する。
 - 総説及び特集などの執筆を依頼する。
 - Impact Factor値の上昇について方策を検討する。

[公益目的事業 調査研究事業]

- 5 用語・診断基準委員会
- 医用超音波用語関係
 - 1) 医用超音波用語集改訂を随時行い、ウェブサイトにて反映する。
 - 2) 他学会との交流、及び連携を図り、用語の整合性について検討を行う。
 - 診断基準関係
 - 1) 「結節甲状腺腫診断基準」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行う。
 - 2) 「消化管診断基準」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行う。
 - 3) 「胆嚢癌超音波診断基準」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行う。
 - 4) 「乳房造影超音波診断基準」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行う。
 - 5) 「超音波による四肢動脈病変の標準的評価法」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行う。
 - 6) 「超音波による頸動脈の標準的評価法(追補版)」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行う。
 - 7) 「超音波によるバスキュラーアクセスの標準的評価法」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行う。
 - 8) 「胎児発育不全の診断ガイドライン」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行う。

[法人事業/法人管理関係]

- 6 保険委員会
- 次回療報酬改定に向け要望項目について、会員にアンケート調査を行い、次回診療報酬改定に向けての準備を行う。
 - 引き続き、内保連・外保連に委員を派遣し、関連他学会との情報交換を行う。
 - 例年のように超音波専門医研修施設に各種超音波検査の年間検査件数、及び検査に携わる医師や技師の実態把握のためのアンケート調査を行う。

[公益目的事業 国際交流事業]

- 7 国際交流委員会
- 公益社団法人日本超音波医学会奨学制度(JSUM Fellowship)関係
「公益社団法人日本超音波医学会奨学制度実施要領」に準拠して、下記の活動を行う。
 - 1) 2020・2023・2024年度JSUM Fellowship研修生の研修を実施する。(2021年研修は完了済み)
 - 2) 2025年度JSUM Fellowship研修生を公募し、選考する。
 - 3) 今後の国際貢献の在り方について検討する。
 - アジア超音波医学学術連合(AFSUMB)・世界超音波医学学術連合大会(WFUMB)関係
 - 1) 令和6年5月9日～11日に韓国ソウル市において開催される第16回AFSUMB大会に学術、広報などの面で協力する。
 - 2) 令和7年5月29日～6月1日に日本・京都において開催される第20回WFUMB大会を共催する。
 - 3) 英文誌(Journal of Medical Ultrasonics)並びにAFSUMB、及び本会のウェブサイトにおいてJSUM Fellowshipの募集広告を行う。
 - 4) AFSUMB、及びWFUMBのEducation Programに協力する。
 - 5) 本会の国際化を一層推進するため、新たな交流事業について検討する。
 - 超音波医学に関して国際的に活躍されている方で本会名誉会員にふさわしい方を検討し、理事会へ推薦する。

[公益目的事業 学術集会・講習会等事業]

- 8 教育委員会
- 第97回学術集會会期中にパシフィコ横浜を会場として、第23回教育セッションを開催する。
 - 第98回学術集會会期中に開催予定の「第24回教育セッション」を企画し、開催に向けての準備を行う。
 - 2024年度に超音波診断講習会(循環器・消化器・血管・領域横断)4領域を開催する。
 - 2025年度に開催する超音波診断講習会を企画し、開催に向けての準備を行う。
 - 2024年度中に小規模講習会(腹部ハンズオンセミナー)は、新型コロナウイルス感染状況を見極めて計画を立てる。
 - 第97回学術集會会期中にパシフィコ横浜を会場として、「必修講習会」を開催する。
 - 機器及び標準化に関する委員会、及び教育委員会と共同でワーキンググループにて、超音波医学に関する医学部教育用及び一般市民向けのコンテンツを策定する。

[収益事業 資格認定事業]

- 9 超音波専門医制度委員会
- 第34回超音波専門医認定試験を実施する。
 - 第35回超音波専門医認定試験のための試験委員会を組織する。
 - 令和6年度超音波指導医の認定審査を実施する。
 - 第30回超音波専門医資格更新審査を実施する。
 - 令和6年度指定の研修施設・基幹施設・連携施設に、令和6年4月1日付けで指定証を交付する。
 - 令和7年度研修施設・基幹施設・連携施設の指定に向けて審査を実施する。
 - 超音波専門医制度に関する啓発を、会員に積極的に行う。
 - 超音波専門医制度に関する他学会との連携を深める。
 - 一般社団法人日本専門医機構の事業に主体的に関わって、専門医制度の資質向上に資する。
 - 基本領域サブスペシャリティ連絡協議会が認定するサブスペシャリティ専門医の取得を目指し、必要な方策を実施する。

[公益目的事業 表彰事業]

- 10 顕彰委員会
- 第26回特別学会賞の選考を行う。
 - 第3回工藤賞の選考を行う。
 - 第24回技術賞の選考を行う。
 - 第38回菊池賞(論文賞)の選考を行う。

- e. 第19回伊東賞(論文賞)の選考を行う。
- f. 第25回奨励賞の選考を行う。
- g. 第13回新人賞(地方会)の選考を行う。

[収益事業 資格認定事業]

- 11 超音波検査士制度委員会
 - a. 第39回超音波検査士認定試験を実施する。
 - b. 第35回超音波検査士資格更新を実施する。
 - c. 第12回超音波指導検査士(腹部領域及び血管領域及び体表臓器領域)認定試験を実施する。
 - d. 第8回超音波指導検査士(腹部領域)資格更新を実施する。
 - e. 超音波検査士の更なる育成を図り、非会員の検査士との連絡方法などの利便性を検討する。
 - f. 「超音波指導検査士(腹部領域及び血管領域及び体表臓器領域)認定試験のための講習会」を実施する。

[収益事業 資格認定事業]

- 12 超音波工学フェロー認定審査委員会
 - a. 第26回超音波工学フェローの認定審査を実施する。
 - b. 第21回超音波工学フェロー資格更新審査を実施する。
 - c. 超音波工学フェロー制度の活性化のために構築した工学フェロー検索システムの広報を行い、浸透を図る。
 - d. 超音波工学フェロー制度の活性化の議論を行い、必要な方策を実施する。

[公益目的事業 研究開発促進事業]

- 13 研究開発促進委員会
 - a. 令和6年度研究会の設置申請についての審査を行い、研究会の設置を認可する。
 - b. 令和7年度研究会の設置申請の公募を行い、応募書類を審査する。

[法人事業/法人管理関係]

- 14 倫理委員会
 - a. 倫理に関する事項について検討を行う。

[公益目的事業 学術集会・講習会等事業]

- 15 学術集会委員会
 - a. 学術集会の在り方を考えて、その運営が円滑に行われるように助言する。

[公益目的事業 学会誌等出版事業]

- 16 広報委員会
 - a. 本学会情報をウェブサイト、SNS及びメールマガジンにより広報を行う。
 - b. ワーキンググループを設置しウェブサイトのリニューアル及びSNSでの広報の作業を行う。

[公益目的事業 学術集会・講習会等事業]

- 17 地方会委員会
 - a. 地方会に関する事業の発展、充実、及び円滑な運営の促進
 - 1) 各地方会の事業が円滑に運営されるよう指導、及び助言を行う。
 - 2) 地方交付金の算定を行い、交付する。
 - 3) 地方会学術集会に関して助言を行う。
 - 4) 地方会講習会に関して助言を行う。
 - 5) 学術集会委員会・在り方検討委員会と共同して正会員増加に関する検討を行う。
 - b. 地方会委員会会議、及び地方会運営委員長会議を開催し、各地方会相互の連絡を緊密に行う。
 - c. 地方会を通じて正会員数増加の推進を行う。
 - d. 各地方会学術集会演題受付ウェブシステムを利用し、抄録のウェブ掲載を行う。

[法人事業/法人管理関係]

- 18 利益相反委員会
 - a. 学会員の利益相反に関するマネージメントを行う。
 - b. 利益相反に関する指針について必要に応じて改訂の検討を行う。

[会員相互補助事業]

- 19 災害対策委員会
 - a. 災害発生に備え、被災地から超音波診断装置等借用要請があった場合に、各超音波機器メーカーや現地医療機関・医療関係者、各都道府県の超音波医学会地方会事務局窓口(防災担当)と連携を図る。
 - b. 災害が発生した場合には、被災地域医療活動支援のための、装置の手配・搬送・回収など一連の貸与関連業務に当たる。

[会員相互補助事業]

- 20 キャリア支援・ダイバーシティ推進委員会
 - a. 委員会内に「Early Career部会」を立ち上げる。
 - b. Early Career部会による第97回学術集会展期中のキャリア支援・ダイバーシティのシンポジウムを企画・開催する。
 - c. アンダー40、及び女性会員の年次学術集会及び各地方会での座長割合を増加させる活動を行う。

[公益目的事業 調査研究事業]

- 21 超音波画像のデータベース構築・利活用推進委員会
 - a. 臨床研究等のICT基盤構築に関する調査研究事業として、次世代に向けた超音波画像データを収集し、データベースを構築する。データベースを学習用データ、テスト用データとして用い、超音波診断を支援する人工知能の開発研究に取り組む。

[法人事業/法人管理関係]

- 22 会員資格審査関係
 - 会員の取扱規則に従い、会員資格に関する下記の認定の審査を行う。
 - a. 入会希望者、及び退会希望者の審査
 - b. 会員資格喪失該当者の審査
 - c. 会員種別変更希望者の審査
 - d. 休会希望者の審査
 - e. 災害被災者の会費免除の審査
 - f. 会員数の動向調査
 - g. 入会条件の検討

[法人事業／法人管理関係]

23 規約関係

- a. 理事長の諮問を受けて、学会運営に関する諸規約の制定、及び改正について逐次審議し、作案する。

[法人事業／法人管理関係]

24 個人情報保護関係

- a. 本会が保有する個人情報を適切に管理する。

[会員相互補助事業]

VI 日本医学会関係

- 1 日本医学会定時総会に出席する。
- 2 第32回日本医学会総会に協力する。
- 3 令和6年度日本医学会分科会用語委員会に出席する。
- 4 日本医学会研究倫理教育研修会に出席する。

(資料5)

令和6年度 収支予算書
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	720	720	0	
入会金収入	1,300,000	1,450,000	△ 150,000	
会費収入	165,435,500	166,296,000	△ 860,500	
正会員会費	(78,650,000)	(82,550,000)	(△ 3,900,000)	@13,000円×6,050人
シニア会員会費	(15,400,000)	(13,750,000)	(1,650,000)	@11,000円×1,400人
準会員会費	(69,700,000)	(68,300,000)	(1,400,000)	@10,000×1,300・@7,000×8,100
学生会員会費	(45,500)	(56,000)	(△ 10,500)	@3,500円×13人
賛助会員会費	(1,640,000)	(1,640,000)	(0)	@40,000円×41口(11社)
学術集会関係	123,481,000	115,761,000	7,720,000	97回:横浜
参加費収入	(67,140,000)	(51,800,000)	(15,340,000)	
共催セミナー収入ほか	(53,834,000)	(61,525,000)	(△ 7,691,000)	
広告収入	(1,507,000)	(1,936,000)	(△ 429,000)	
寄付金収入	(1,000,000)	(500,000)	(500,000)	
地方会・地方会学術集会関係	46,502,500	48,472,000	△ 1,969,500	
参加費収入	(17,719,000)	(17,970,000)	(△ 251,000)	
共催セミナー収入ほか	(19,488,000)	(21,186,000)	(△ 1,698,000)	
広告収入	(6,765,500)	(6,806,000)	(△ 40,500)	
資料頒布収入	(20,000)	(100,000)	(△ 80,000)	
寄付金収入	(2,510,000)	(1,910,000)	(600,000)	
補助金・助成金収入	(0)	(500,000)	(△ 500,000)	
編集委員会	1,824,900	1,907,000	△ 82,100	
学会誌印刷収入	(45,000)	(90,000)	(△ 45,000)	和文誌6回
広告収入	(160,000)	(160,000)	(0)	
著作権・印税収入	(1,400,000)	(1,300,000)	(100,000)	著作権使用料
資料頒布収入	(219,900)	(357,000)	(△ 137,100)	オンデマンド印刷等頒布ほか
教育委員会	55,000	15,000	40,000	
資料頒布収入	(55,000)	(15,000)	(40,000)	クリアフォルダ
教育セッション関係	3,600,000	3,900,000	△ 300,000	
参加費収入	(3,600,000)	(3,900,000)	(△ 300,000)	
講習会関係	11,600,000	14,020,000	△ 2,420,000	
参加費収入	(11,600,000)	(14,020,000)	(△ 2,420,000)	4回開催
必修講習会関係	19,585,280	14,306,820	5,278,460	
参加費収入	(3,273,600)	(7,949,700)	(△ 4,676,100)	
資料頒布収入	(16,311,680)	(6,357,120)	(9,954,560)	e-learning
専門医制度委員会	12,912,000	9,872,500	3,039,500	
試験・新規認定収入	(4,844,000)	(5,007,500)	(△ 163,500)	試験受験料・認定料
更新認定収入	(5,340,000)	(3,765,000)	(1,575,000)	
資料頒布収入	(2,728,000)	(1,100,000)	(1,628,000)	専門医認定試験問題集
工学フェロー認定審査委員会	42,500	47,500	△ 5,000	
新規認定収入	(15,000)	(20,000)	(△ 5,000)	
更新認定収入	(27,500)	(27,500)	(0)	
検査士制度委員会	66,455,000	69,100,600	△ 2,645,600	
試験・新規認定収入	(45,244,000)	(46,650,000)	(△ 1,406,000)	試験受験料・認定料
更新認定収入	(20,725,000)	(21,825,000)	(△ 1,100,000)	↳(指導検査士含む)
著作権・印税収入	(486,000)	(625,600)	(△ 139,600)	検査士認定試験問題集印税
特定資産運用収入	4,163	2,450	1,713	
受取利息	2,362	2,000	362	基金分は除く
雑収入	4,000	2,000	2,000	在外会員手数料
事業活動収入計 (A)	452,804,925	445,155,590	7,649,335	
2. 事業活動支出				
事業費				
学術集会関係	115,400,038	117,675,287	△ 2,275,249	97回:横浜
臨時雇い賃金	(0)	(615,000)	(△ 615,000)	
会計顧問料	(440,000)	(0)	(440,000)	
会場・会議費	(39,155,898)	(72,122,977)	(△ 32,967,079)	市民公開講座分を除く
印刷費	(10,795,795)	(10,429,352)	(366,443)	市民公開講座分を除く
通信・運搬費	(106,400)	(0)	(106,400)	
旅費交通費	(115,500)	(6,200,000)	(△ 6,084,500)	
システム運営費	(25,585,092)	(1,379,400)	(24,205,692)	
業務委託費	(27,539,768)	(21,191,558)	(6,348,210)	市民公開講座分を除く
関連行事費	(9,002,675)	(5,737,000)	(3,265,675)	
雑費	(2,658,910)	(0)	(2,658,910)	
学術集会(本部)・委員会	5,907,283	783,000	5,124,283	
臨時雇い賃金	(100,000)	(80,000)	(20,000)	
会場・会議費	(52,400)	(40,000)	(12,400)	
会場・会議費	(2,000,000)	(0)	(2,000,000)	市民公開講座 ※特定費用準備資金
印刷費	(1,000,000)	(0)	(1,000,000)	市民公開講座 ※特定費用準備資金
通信・運搬費	(23,000)	(23,000)	(0)	
旅費交通費	(531,883)	(440,000)	(91,883)	
システム運営費	(200,000)	(200,000)	(0)	
業務委託費	(2,000,000)	(0)	(2,000,000)	市民公開講座 ※特定費用準備資金
地方会・地方会学術集会関係	61,826,800	63,946,000	△ 2,119,200	

科 目	予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	備 考
臨時雇い賃金	(6,894,600)	(8,310,000)	(△ 1,415,400)	
文具消耗品費	(1,578,400)	(2,486,000)	(△ 907,600)	
会場・会議費	(19,265,000)	(17,255,000)	(2,010,000)	
印刷費	(8,438,400)	(9,503,000)	(△ 1,064,600)	
通信・運搬費	(1,579,000)	(2,023,000)	(△ 444,000)	
旅費交通費	(1,536,000)	(1,794,000)	(△ 258,000)	
支払手数料	(310,400)	(206,000)	(104,400)	
システム運営費	(805,000)	(1,876,000)	(△ 1,071,000)	
業務委託費	(18,610,000)	(18,133,000)	(477,000)	
顕彰関係費	(760,000)	(940,000)	(△ 180,000)	
関連行事費	(0)	(110,000)	(△ 110,000)	
諸謝金	(2,050,000)	(1,310,000)	(740,000)	
地方会(本部)・委員会	2,456,640	750,000	1,706,640	
会場・会議費	(82,640)	(80,000)	(2,640)	
通信・運搬費	(10,000)	(0)	(10,000)	
システム運営費	(2,364,000)	(670,000)	(1,694,000)	
編集委員会	48,612,800	54,227,000	△ 5,614,200	
学会誌出版費	(35,835,800)	(36,500,000)	(△ 664,200)	OpenAccess費用を含む
発送経費	(5,155,000)	(4,685,000)	(470,000)	
校正費	(6,740,000)	(10,860,000)	(△ 4,120,000)	
諸謝金	(500,000)	(500,000)	(0)	
システム運営費	(382,000)	(1,082,000)	(△ 700,000)	
会場・会議費	(0)	(190,000)	(△ 190,000)	
旅費交通費	(0)	(410,000)	(△ 410,000)	
研究開発促進委員会	187,420	187,420	0	研究開発促進委員会
文具消耗品費	(1,500)	(1,500)	(0)	
会場・会議費	(25,920)	(25,920)	(0)	
通信・運搬費	(10,000)	(10,000)	(0)	
旅費交通費	(150,000)	(150,000)	(0)	
研究会関係	1,050,000	1,050,000	0	研究会設置費(3研究会)
文具消耗品費	(200,000)	(210,000)	(△ 10,000)	
会場・会議費	(530,000)	(560,000)	(△ 30,000)	
印刷費	(130,000)	(230,000)	(△ 100,000)	
通信・運搬費	(40,000)	(40,000)	(0)	
旅費交通費	(100,000)	(0)	(100,000)	
支払手数料	(0)	(10,000)	(△ 10,000)	
諸謝金	(50,000)	(0)	(50,000)	
顕彰委員会	6,167,242	6,377,000	△ 209,758	
顕彰関係費	(5,200,000)	(5,500,000)	(△ 300,000)	
文具・消耗品費	(0)	(12,000)	(△ 12,000)	
会場・会議費	(210,112)	(200,000)	(10,112)	
印刷費	(50,930)	(35,000)	(15,930)	
通信・運搬費	(30,000)	(30,000)	(0)	
旅費交通費	(676,200)	(600,000)	(76,200)	
用語・診断基準委員会	1,265,630	1,419,000	△ 153,370	
校正費	(300,000)	(300,000)	(0)	
会費・分担金	(310,000)	(310,000)	(0)	日本乳がん検診精度管理中央機構
会場・会議費	(208,080)	(400,000)	(△ 191,920)	
通信・運搬費	(3,000)	(9,000)	(△ 6,000)	
旅費交通費	(244,550)	(200,000)	(44,550)	
システム運営費	(200,000)	(200,000)	(0)	医用超音波用語検索システム
機器及び標準化に関する委員会	11,735,020	11,376,000	359,020	
会場・会議費	(164,000)	(170,000)	(△ 6,000)	
会場・会議費	(20,000)	(0)	(20,000)	※特定費用準備資金
印刷費	(10,000,000)	(10,000,000)	(0)	※特定費用準備資金
通信・運搬費	(0)	(6,000)	(△ 6,000)	
旅費交通費	(975,620)	(1,000,000)	(△ 24,380)	
旅費交通費	(575,400)	(0)	(575,400)	※特定費用準備資金
システム運営費	(0)	(200,000)	(△ 200,000)	
安全委員会	609,045	624,000	△ 14,955	
会費・分担金	(200,000)	(200,000)	(0)	日本医療安全調査機構
会場・会議費	(62,120)	(70,000)	(△ 7,880)	
通信・運搬費	(1,000)	(4,000)	(△ 3,000)	
旅費交通費	(345,925)	(350,000)	(△ 4,075)	
教育委員会	1,027,980	793,000	234,980	教育委員会
会場・会議費	(71,840)	(90,000)	(△ 18,160)	
通信・運搬費	(3,000)	(3,000)	(0)	
旅費交通費	(953,140)	(700,000)	(253,140)	
教育セッション関係	1,617,987	1,480,000	137,987	
業務委託費	(330,000)	(330,000)	(0)	
諸謝金	(567,987)	(560,000)	(7,987)	講師旅費を含む
印刷費	(550,000)	(500,000)	(50,000)	教育セッションテキスト含む
通信・運搬費	(20,000)	(20,000)	(0)	
旅費交通費	(150,000)	(70,000)	(80,000)	
講習会関係	13,452,840	13,565,840	△ 113,000	4回開催
システム運営費	(990,000)	(1,232,000)	(△ 242,000)	

科 目	予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	備 考
業務委託費	(2,000,000)	(2,000,000)	(0)	
諸謝金	(1,336,440)	(3,796,440)	(△ 2,460,000)	講師旅費を含む
会場・会議費	(5,486,400)	(5,486,400)	(0)	
印刷費	(600,000)	(600,000)	(0)	講習会テキスト含む
通信・運搬費	(100,000)	(100,000)	(0)	
旅費交通費	(2,940,000)	(351,000)	(2,589,000)	
必修講習会	3,721,374	6,627,000	△ 2,905,626	
頒布資料印刷費	(341,000)	(180,000)	(161,000)	e-learningシステムを含む
システム運営費	(0)	(716,000)	(△ 716,000)	
業務委託費	(999,800)	(3,011,000)	(△ 2,011,200)	
諸謝金	(169,174)	(0)	(169,174)	講師旅費を含む
会場・会議費	(1,280,000)	(1,780,000)	(△ 500,000)	
印刷費	(225,500)	(290,000)	(△ 64,500)	テキスト含む
通信・運搬費	(0)	(135,000)	(△ 135,000)	
支払手数料	(705,900)	(515,000)	(190,900)	
専門医制度委員会	6,109,436	11,826,800	△ 5,717,364	
頒布資料印刷費	(0)	(5,484,800)	(△ 5,484,800)	専門医認定試験問題集、編集人件費を含む
システム運営費	(110,000)	(462,000)	(△ 352,000)	
業務委託費	(173,250)	(175,000)	(△ 1,750)	専門医認定試験採点
諸謝金	(840,000)	(575,000)	(265,000)	
臨時雇い賃金	(718,000)	(680,000)	(38,000)	
会場・会議費	(1,532,300)	(1,300,000)	(232,300)	
印刷費	(728,200)	(170,000)	(558,200)	試験問題作成ほか
通信・運搬費	(643,786)	(580,000)	(63,786)	
旅費交通費	(1,353,900)	(2,400,000)	(△ 1,046,100)	
雑費	(10,000)	(0)	(10,000)	
工学フェロー認定審査委員会	51,544	141,800	△ 90,256	
会場・会議費	(4,400)	(8,800)	(△ 4,400)	
通信・運搬費	(15,844)	(8,000)	(7,844)	
旅費交通費	(31,300)	(125,000)	(△ 93,700)	
検査士制度委員会	24,946,800	33,484,700	△ 8,537,900	
システム運営費	(1,000,000)	(1,050,000)	(△ 50,000)	
業務委託費	(1,845,000)	(1,880,000)	(△ 35,000)	
諸謝金	(2,557,500)	(2,705,000)	(△ 147,500)	
臨時雇い賃金	(1,990,500)	(2,107,600)	(△ 117,100)	
文具消耗品費	(200,000)	(200,000)	(0)	
会場・会議費	(7,958,700)	(16,500,000)	(△ 8,541,300)	
印刷費	(3,213,500)	(2,900,000)	(313,500)	
通信・運搬費	(2,993,500)	(2,900,000)	(93,500)	
旅費交通費	(1,493,500)	(1,547,400)	(△ 53,900)	
支払手数料	(1,651,600)	(1,651,700)	(△ 100)	
雑費	(43,000)	(43,000)	(0)	
国際交流委員会	9,965,948	10,284,500	△ 318,552	
奨学金	(6,200,000)	(6,800,000)	(△ 600,000)	5名(2024)+1名(2023)+1名(2020)
会費・分担金	(3,282,828)	(3,123,000)	(159,828)	AFSUMB分担金
諸謝金	(310,000)	(220,000)	(90,000)	
会場・会議費	(15,120)	(11,500)	(3,620)	
通信・運搬費	(10,000)	(10,000)	(0)	
旅費交通費	(148,000)	(120,000)	(28,000)	
広報委員会	21,719,800	15,130,400	6,589,400	
システム運営費	(2,839,400)	(2,905,400)	(△ 66,000)	
システム運営費	(7,726,400)	(12,000,000)	(△ 4,273,600)	Webリニューアル ※特定費用準備資金
会場・会議費	(0)	(198,000)	(△ 198,000)	
旅費交通費	(0)	(27,000)	(△ 27,000)	
業務委託費	(11,154,000)	(0)	(11,154,000)	※特定費用準備資金
在り方検討委員会	74,252	126,000	△ 51,748	企画委員会より名称変更
会場・会議費	(0)	(100,000)	(△ 100,000)	
通信・運搬費	(6,000)	(20,000)	(△ 14,000)	
旅費交通費	(68,252)	(6,000)	(62,252)	
キャリア支援・ダイバーシティー推進委員会	121,120	257,370	△ 136,250	
諸謝金	(0)	(111,370)	(△ 111,370)	
会場・会議費	(82,120)	(70,000)	(12,120)	
印刷費	(30,000)	(0)	(30,000)	
通信・運搬費	(9,000)	(6,000)	(3,000)	
旅費交通費	(0)	(70,000)	(△ 70,000)	
災害対策委員会	35,960	10,000	25,960	
会場・会議費	(32,960)	(10,000)	(22,960)	
通信・運搬費	(3,000)	(0)	(3,000)	
超音波画像のデータベース構築・利活用推進委員会	24,179,450	24,042,000	137,450	
システム運営費	(4,598,000)	(4,958,250)	(△ 360,250)	※特定費用準備資金
文具消耗品費	(50,000)	(50,000)	(0)	※特定費用準備資金
会場・会議費	(0)	(42,000)	(△ 42,000)	
会場・会議費	(120,000)	(18,000)	(102,000)	※特定費用準備資金
旅費交通費	(1,050,000)	(1,050,000)	(0)	※特定費用準備資金
業務委託費	(17,133,450)	(16,695,750)	(437,700)	※特定費用準備資金
諸謝金	(1,228,000)	(1,228,000)	(0)	※特定費用準備資金

科 目	予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	備 考
事業費計	362,242,409	376,184,117	△ 13,941,708	
管理費				
給与手当	53,441,000	52,496,000	945,000	
会計顧問料	880,000	880,000	0	
福利厚生費	515,000	505,000	10,000	
法定福利費	9,500,000	8,700,000	800,000	
職員交通費	1,472,500	1,434,500	38,000	
事務所賃借料	20,065,700	20,065,700	0	
事務用機器賃借料	923,200	923,500	△ 300	
備品費	200,000	200,000	0	
文具消耗品費	330,000	330,000	0	
光熱水料	1,400,000	1,400,000	0	
事務OA化費	2,000,000	2,000,000	0	
会場・会議費	450,000	450,000	0	
印刷費	1,100,000	1,200,000	△ 100,000	
通信・運搬費	3,450,000	3,400,000	50,000	
旅費交通費	800,000	1,300,000	△ 500,000	理事会等
各種保険料	250,000	250,000	0	役員賠償責任保険・火災保険ほか
租税公課	7,100,000	7,200,000	△ 100,000	
支払手数料	3,200,000	2,200,000	1,000,000	
システム運営費	280,000	280,000	0	
会費・分担金	440,000	465,500	△ 25,500	日本医学会、公益法人協会ほか
業務委託費	897,600	396,000	501,600	
雑費	500,000	400,000	100,000	
保険委員会	625,000	775,000	△ 150,000	
会費・分担金	(600,000)	(600,000)	(0)	内保連、外保連
会場・会議費	(20,000)	(20,000)	(0)	
通信・運搬費	(5,000)	(5,000)	(0)	
旅費交通費	(0)	(150,000)	(△ 150,000)	
倫理委員会	0	63,000	△ 63,000	
会場・会議費	(0)	(13,000)	(△ 13,000)	
旅費交通費	(0)	(50,000)	(△ 50,000)	
利益相反委員会	0	63,000	△ 63,000	
会場・会議費	(0)	(13,000)	(△ 13,000)	
旅費交通費	(0)	(50,000)	(△ 50,000)	
規約関係	5,000	3,000	2,000	
通信・運搬費	(5,000)	(3,000)	(2,000)	
選挙関係	548,840	175,000	373,840	
会場・会議費	(0)	(25,000)	(△ 25,000)	
通信・運搬費	(3,000)	(0)	(3,000)	
旅費交通費	(193,840)	(150,000)	(43,840)	
システム運営費	(352,000)	(0)	(352,000)	
管理費計	110,373,840	107,555,200	2,818,640	
事業活動支出計 (B)	472,616,249	483,739,317	△ 11,123,068	
事業活動収支差額 (C)=(A)-(B)	△ 19,811,324	△ 38,583,727	18,772,403	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定預金取崩収入	49,400,000	66,900,000	△ 17,500,000	
学術奨励基金取崩収入	()	(15,000,000)	(△ 15,000,000)	
システム関連基金取崩収入	()	(5,000,000)	(△ 5,000,000)	
伊東賞基金取崩収入	(600,000)	(600,000)	(0)	
工藤賞基金取崩収入	(300,000)	(300,000)	(0)	※指定正味財産
超音波医学啓発準備資金取崩収入	(10,000,000)	(12,000,000)	(△ 2,000,000)	※特定費用準備資金
教育関連準備資金取崩収入	(10,000,000)	(10,000,000)	(0)	※特定費用準備資金
データベース整備資金取崩収入	(24,000,000)	(24,000,000)	(0)	※特定費用準備資金
学術集会準備資金取崩収入	(4,500,000)	(0)	(4,500,000)	※特定費用準備資金
投資活動収入計 (D)	49,400,000	66,900,000	△ 17,500,000	
2. 投資活動支出				
特定預金繰入支出	35,500,000	47,500,000	△ 12,000,000	
退職給付引当預金支出	(3,500,000)	(3,500,000)	(0)	
超音波医学啓発準備資金組入支出	(10,000,000)	(10,000,000)	(0)	※特定費用準備資金
データベース整備資金組入支出	(9,000,000)	(21,000,000)	(△ 12,000,000)	※特定費用準備資金
学術集会準備資金組入支出	(13,000,000)	(13,000,000)	(0)	※特定費用準備資金
什器備品取得支出	0	0	0	
投資活動支出計 (E)	35,500,000	47,500,000	△ 12,000,000	
投資活動収支差額 (F)=(D)-(E)	13,900,000	19,400,000	△ 5,500,000	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入			0	
財務活動収入計 (G)	0	0	0	
2. 財務活動支出			0	

科 目	予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	備 考
財務活動支出計 (H)	0	0	0	
財務活動収支差額 (J)=(G)-(H)	0	0	0	
当期収支差額 (K)=(C)+(F)+(J)	△ 5,911,324	△ 19,183,727	13,272,403	
前期繰越収支差額 (L)	173,489,904	166,840,034	6,649,870	
次期繰越収支差額 (K)+(L)	167,578,580	147,656,307	19,922,273	

公益社団法人収支予算内訳書(損益計算ベース)

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

科目	公益目的事業会計		収益事業等会計		収益事業等会計 小計	法人会計	内部取引消去	合計
	公1	資格認定事業	会員相互補助事業					
I 一般正味財産増減の部								
1.経常増減の部								
(1)経常収益								
基本財産運用収入	0	0	0	0	0	720	0	720
特定資産運用収入	4,163	0	0	0	0	0	0	4,163
入金金収入	650,000	0	0	0	0	650,000	0	1,300,000
会費収入	82,717,750	0	0	0	0	82,717,750	0	165,435,500
参加費収入	103,332,600	0	0	0	0	0	0	103,332,600
共催セミナー収入ほか	73,322,000	0	0	0	0	0	0	73,322,000
広告収入	8,432,500	0	0	0	0	0	0	8,432,500
試験・新規認定収入	0	50,103,000	0	0	50,103,000	0	0	50,103,000
更新認定収入	0	26,092,500	0	0	26,092,500	0	0	26,092,500
学会誌別刷収入	45,000	0	0	0	0	0	0	45,000
資料頒布収入	19,334,580	0	0	0	0	0	0	19,334,580
著作権・印税収入	1,886,000	0	0	0	0	0	0	1,886,000
寄付金収入	3,510,000	0	0	0	0	0	0	3,510,000
・指定正味財産からの振替	300,000	0	0	0	0	0	0	300,000
補助金・助成金収入	0	0	0	0	0	0	0	0
受取利息収入	0	0	0	0	0	2,362	0	2,362
雑収入	0	0	0	0	0	4,000	0	4,000
経常収益計	293,534,593	76,195,500	0	0	76,195,500	83,374,832	0	453,104,925
(2)経常費用								
事業費								
学会誌出版費	35,835,800	0	0	0	0	0	0	35,835,800
発送経費	5,155,000	0	0	0	0	0	0	5,155,000
校正費	7,040,000	0	0	0	0	0	0	7,040,000
表彰関係費	5,960,000	0	0	0	0	0	0	5,960,000
奨学金	6,200,000	0	0	0	0	0	0	6,200,000
給与手当	23,764,016	8,084,665	1,469,940	9,554,605	33,318,621	0	0	33,318,621
臨時雇い賃金	6,994,600	2,708,500	0	2,708,500	9,703,100	0	0	9,703,100
会計顧問料	440,000	0	0	0	440,000	0	0	440,000
法定福利費	4,607,500	1,567,500	285,000	1,852,500	6,460,000	0	0	6,460,000
職員交通費	714,169	242,964	44,176	287,140	1,001,309	0	0	1,001,309
事務所賃借料	9,731,871	3,310,842	601,972	3,912,814	13,644,685	0	0	13,644,685
文具消耗品費	1,829,900	200,000	0	200,000	2,029,900	0	0	2,029,900
光熱水料	679,000	231,000	42,000	273,000	952,000	0	0	952,000
会場・会議費	68,749,530	9,495,400	115,080	9,610,480	78,360,010	0	0	78,360,010
印刷費	31,790,625	3,941,700	30,000	3,971,700	35,762,325	0	0	35,762,325
通信・運搬費	3,608,650	4,222,380	121,500	4,343,880	7,952,530	0	0	7,952,530
旅費・交通費	10,492,218	2,878,700	68,252	2,946,952	13,439,170	0	0	13,439,170
支払手数料	1,016,300	1,651,600	0	1,651,600	2,667,900	0	0	2,667,900
システム運営費	45,689,892	1,110,000	0	1,110,000	46,799,892	0	0	46,799,892
租税公課	3,443,500	1,242,500	0	1,242,500	4,686,000	0	0	4,686,000
業務委託費	79,767,018	2,018,250	0	2,018,250	81,785,268	0	0	81,785,268
雑費	2,658,910	53,000	0	53,000	2,711,910	0	0	2,711,910
会費・分担金	3,792,828	0	0	0	3,792,828	0	0	3,792,828
関連行事費	9,002,675	0	0	0	9,002,675	0	0	9,002,675
諸謝金	6,211,601	3,397,500	0	3,397,500	9,609,101	0	0	9,609,101
賞与引当金繰入額	2,154,869	733,100	133,290	866,390	3,021,259	0	0	3,021,259
退職給付費用	1,920,724	653,442	118,808	772,250	2,692,974	0	0	2,692,974
減価償却費	296,033	1,362,702	1,348	1,364,050	1,660,083	0	0	1,660,083
事業費計	379,888,229	49,105,745	3,031,366	52,137,111	432,025,340	0	0	432,025,340
管理費								
給与手当	0	0	0	0	15,679,346	0	0	15,679,346
会計顧問料	0	0	0	0	880,000	0	0	880,000
福利厚生費	0	0	0	0	515,000	0	0	515,000
法定福利費	0	0	0	0	3,040,000	0	0	3,040,000
職員交通費	0	0	0	0	471,191	0	0	471,191
事務所賃借料	0	0	0	0	6,421,015	0	0	6,421,015
事務用機器賃借料	0	0	0	0	923,200	0	0	923,200
備品費	0	0	0	0	200,000	0	0	200,000
文具消耗品費	0	0	0	0	330,000	0	0	330,000
光熱水料	0	0	0	0	448,000	0	0	448,000
事務OA化費	0	0	0	0	2,000,000	0	0	2,000,000
会場・会議費	0	0	0	0	470,000	0	0	470,000
印刷費	0	0	0	0	1,100,000	0	0	1,100,000
通信・運搬費	0	0	0	0	1,117,000	0	0	1,117,000
旅費交通費	0	0	0	0	993,840	0	0	993,840
租税公課	0	0	0	0	2,414,000	0	0	2,414,000
支払手数料	0	0	0	0	3,200,000	0	0	3,200,000
システム運営費	0	0	0	0	632,000	0	0	632,000
会費・分担金	0	0	0	0	1,040,000	0	0	1,040,000
保険料	0	0	0	0	250,000	0	0	250,000
業務委託費	0	0	0	0	897,600	0	0	897,600
雑費	0	0	0	0	500,000	0	0	500,000
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	1,421,774	0	0	1,421,774
退職給付費用	0	0	0	0	1,267,284	0	0	1,267,284
減価償却費	0	0	0	0	17,517	0	0	17,517
管理費計	0	0	0	0	46,228,767	0	0	46,228,767
経常費用計	379,888,229	49,105,745	3,031,366	52,137,111	478,254,107	0	0	478,254,107
当期経常増減額	△ 86,353,636	27,089,755	△ 3,031,366	24,058,389	37,146,065	0	0	△ 25,149,182
2.経常外増減の部	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
当期正味財産増減額	△ 86,353,636	27,089,755	△ 3,031,366	24,058,389	37,146,065	0	0	△ 25,149,182
一般正味財産期首残高	223,063,111			38,626,743	195,401,567			457,091,421
一般正味財産期末残高	136,709,475			62,685,132	232,547,632			431,942,239
II 指定正味財産増減の部								
受取交付金	0	0	0	0	0	0	0	0
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄附金	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産へ振替								
受取交付金	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
受取補助金等	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
受取寄附金	(300,000)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(300,000)
当期指定正味財産増減額	△ 300,000	0	0	0	0	0	0	△ 300,000
指定正味財産期首残高	5,400,000							5,400,000
指定正味財産期末残高	5,100,000							5,100,000
III 正味財産期末残高	141,809,475				62,685,132	232,547,632		437,042,239

(注) 資金調達及び設備投資の見込みについて

- 資金調達の見込みについて
当年度における借り入れの予定 …… なし
- 設備投資の見込みについて
当年度における重要な設備投資（除却又は売却を含む）の予定 …… なし

令和6・7年度公益社団法人日本超音波医学会 理事及び監事候補者

(自 令和6年6月1日 至 令和8年度定時総会開催日)

1. 理事候補者(25名)

本会役員代議員選任規則第2条に則り、代議員の投票によって選出した20名、及び現理事会により指名した5名を理事候補者とする。

(投票によって選出された候補者) (50音順)

秋山いわき 理工学 同志社大学生命医科学部医情報学科
荒川元孝 理工学 東北大学医工学研究科
石津智子 医師 筑波大学循環器内科
市塚清健 医師 昭和大学横浜市北部病院産婦人科
岩永史郎 医師 埼玉医科大学国際医療センター心臓内科
小川真広 医師 日本大学医学部内科学系消化器肝臓内科学分野
尾本きよか 医師 自治医科大学附属さいたま医療センター総合医学第1講座(臨床検査部)
北野雅之 医師 和歌山県立医科大学第二内科
黒田英克 医師 岩手医科大学附属病院内科学講座消化器内科分野
瀬尾由広 医師 名古屋市立大学大学院医学研究科循環器内科学
大門雅夫 医師 国際医療福祉大学三田病院循環器内科
中田雅彦 医師 東邦大学医学部産科婦人科学講座
西田 睦 医師・理工学関係者以外 北海道大学病院経営戦略部
新田尚隆 理工学 産業技術総合研究所健康医工学研究部門
長谷川英之 理工学 富山大学学術研究部工学系
島 二郎 医師 川崎医科大学検査診断学
丸山紀史 医師 順天堂大学消化器画像診断・治療学
村田光繁 医師 東海大学医学部付属八王子病院臨床検査学
山口 匡 理工学 千葉大学フロンティア医工学センター
渡邊 望 医師 宮崎大学医学部機能制御学講座循環動態生理学分野

以上20名

(現理事会の推薦によって選出された候補者) (50音順)

赤坂和美 医師 釧路孝仁会記念病院循環器内科
陣崎雅弘 医師 慶應義塾大学医学部放射線科学(診断)
濱口浩敏 医師 北播磨総合医療センター脳神経内科
古川まどか 医師 神奈川県立がんセンター頭頸部外科
吉田 寛 医師 日本医科大学付属病院消化器外科

以上5名

(25名の理事候補者の専攻・領域・地域)

	区分	氏名	専攻	領域	地域
1	推薦	赤坂和美	医学関係	血管	北海道
2	投票	秋山いわき	理工学関係		関西
3	投票	荒川元孝	理工学関係		東北
4	投票	石津智子	医学関係	循環器	東京を除く関東
5	投票	市塚清健	医学関係	産婦人科	東京を除く関東
6	投票	岩永史郎	医学関係	循環器	東京都
7	投票	小川眞広	医学関係	消化器	東京都
8	投票	尾本きよか	医学関係	総合	東京を除く関東
9	投票	北野雅之	医学関係	消化器	関西
10	投票	黒田英克	医学関係	消化器	東北
11	推薦	陣崎雅弘	医学関係	腎・泌尿器	東京都
12	投票	瀬尾由広	医学関係	循環器	東海
13	投票	大門雅夫	医学関係	循環器	東京都
14	投票	中田雅彦	医学関係	産婦人科	東京都
15	投票	西田 睦	医師・理工学関係者以外		北海道
16	投票	新田尚隆	理工学関係		東京を除く関東
17	投票	長谷川英之	理工学関係		北陸甲信越
18	投票	島 二郎	医学関係	消化器	中国
19	推薦	濱口浩敏	医学関係	血管	関西
20	推薦	古川まどか	医学関係	甲状腺・頭頸部	関東(東京を除く)
21	投票	丸山紀史	医学関係	消化器	東京都
22	投票	村田光繁	医学関係	循環器	東京都
23	投票	山口 匡	理工学関係		東京を除く関東
24	推薦	吉田 寛	医学関係	消化器	東京都
25	投票	渡邊 望	医学関係	循環器	九州・沖縄

2. 監事候補者

本会役員代議員選任規則第3条に則り、代議員の投票によって選出した、以下2名を監事候補者とする。

菊池昭彦 埼玉医科大学総合医療センター産婦人科・総合周産期母子医療センター母体胎児部門
日浅陽一 愛媛大学大学院消化器・内分泌・代謝内科学

3. 理事補欠候補者

本会役員代議員選任規則第5条第1項に則り、以下7名を順位を付して理事補欠候補として選定した。

(医学系関係者)

- 1位 泉 知里 国立循環器病研究センター心臓血管内科
- 2位 瀧間 浄宏 長野県立こども病院循環器小児科
- 3位 糸井 隆夫 東京医科大学臨床医学系消化器内科学分野
- 4位 打田 佐和子 大阪公立大学大学院医学研究科肝胆膵病態内科学
- 5位 岡庭 信司 飯田市立病院消化器内科

(理工学関係者)

- 1位 神山 直久 GEヘルスケア・ジャパン超音波製品開発部

(医師・理工学関係者以外)

- 1位 丹羽 文彦 大垣市民病院診療検査科形態診断室

4. 監事補欠候補者

本会役員代議員選任規則第5条第2項に則り、以下1名を順位を付して監事補欠候補として選定した。

- 1位 廣岡 芳樹 藤田医科大学消化器内科学講座

(資料7)

会費滞納による会員資格喪失者 (令和6年3月31日)

186名

内訳 正会員 92名

シニア会員 15名

準会員 79名

学生会員 0名

公益社団法人日本超音波医学会会員の種別、入退会、会費等の取扱い規則(案)

(平成25年 4 月 1 日制定)
 (平成25年 4 月19日改正)
 (平成26年 5 月10日改正)
 (平成27年 8 月 7 日改正)
 (平成27年10月 9 日改正)
 (平成28年 4 月 1 日改正)
 (令和 6 年 6 月 1 日改正)

(目 的)

第1条 会員の種別、入退会、会費等の取扱いは、定款第3章に定めるもののほか、この規則による。

(会員の種別の変更等)

第2条 定款第5条第1項第4号で規定する学生会員だった者が正会員、シニア会員又は準会員の資格に達し、会員継続の意志がある場合は、正会員、シニア会員もしくは準会員に種別変更手続きを行わなければならない。

2 学生会員で、資格を失った者は退会とする。

第3条 定款第5条第1項第5号で規定する賛助会員のうち、5口以上の会費を納入する者は、理事会の承認により、特別賛助会員と称することができる。

(入 会)

第4条 本学会の正会員、シニア会員、準会員、学生会員及び賛助会員になろうとする者は、所定の入会申込手続きを行い、入会金及び当該年度の会費を添えて、理事長に提出しなければならない。

2 入会金は、次のとおりとする。ただし、賛助会員については、入会金を納めることを要しない。

- 一 正 会 員 2,000円
- 二 シニア会員 2,000円
- 三 準 会 員 1,500円
- 四 学生会員 1,000円

3 入会の承認は、会員資格審査担当理事の議を経て、理事会において行う。

4 理事会が入会を承認しなかったときは、入会申込手続きに添えて提出された入会金及び当該年度の会費は、これを返還する。

5 理事会は、入会時期、財政状況等により入会金、及び初年度の年会費を免除、もしくは年会費額を減額することができる。

なお、再入会の場合はこれに該当しない。

(退 会)

第5条 会員が退会しようとするときは、退会届を理事長に提出しなければならない。

2 会費を滞納中の会員が退会しようとする場合、滞納中の会費を納入する。

(会費の納入)

第6条 会費(会誌購読料を含む)は、毎年度分(4月から翌年3月まで)を当該年度の5月末日までに納入しなければならない。

第7条 会員の種別の変更を希望する者は、種別変更届けを理事長宛に提出し、会員資格審査担当理事の議を経て、理事会の承認を得なければならない。ただし、種別の変更は新年度開始日とし、変更後の会費を適応する。

第8条 会費の滞納が5か月以上に及ぶときは、会費を納入した場合でも、滞納期間中の会誌は配布を受けられない。

(在外の会員)

第9条 在外の会員は、郵送料等の必要経費を、会費と別に納入しなければならない。納入金額は、理事会がこれを定める。

(改 廃)

第10条 この規則の改廃は、規約担当理事の発議により、理事会の決議を得なければならない。

2 第4条第2項の変更は、理事会及び総会の決議を得なければならない。

附 則

この規則は、一般社団法人の設立の登記の日から適用する。

附 則

この規則の改正は、平成25年4月19日から施行し、平成25年4月1日から適用する。

附 則

この規則の改正は、平成26年5月10日から施行する。

附 則

1 この規則の改正は平成27年8月8日から施行する。

2 会費滞納の理由により平成27年3月31日に会員資格を喪失した会員について、平成27年度内に再入会の意向が確認された場合は、27年度の会費と滞納期間中の会費納入をもって超音波専門医、超音波指導医、超音波検査士、超音波検査士指導医及び超音波工学フェローに関しては会員資格が継続しているものとみなし、また、入会申込手続きについては再度行うことを要しないものとする。

附 則

この規則の第4条以外の改正は平成27年8月8日から施行し、第4条の改正は、平成27年10月10日から施行するものとし、ともに遡って平成27年5月24日から適用する。

附 則

この規則の改正は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規則の改正は、令和6年6月1日改正から施行、令和6年4月1日から適用する。

(変更事由)

正会員新入会キャンペーンで入会申請時に会費を自動引き落としで申込みした者に対して入会金、及び初年度会費を免除するにあたり本規則に第4条にこのことを盛り込む必要があるため

正会員の入会金と初年度会費無料キャンペーン実施について

(目的)

超音波医学は、さまざまな医療技術が発展する中で、簡便かつ精緻な非侵襲的診断法として確立され診断・治療に寄与してきたが研修制度や診療形態の変化に伴い若手の超音波離れが深刻な問題となっている。

会員数動向調査を行った結果、ここ10年を観ると準会員数は70%増加しているのに対し、正会員＋シニア会員の数は13%減少している。また、正会員とシニア会員の年齢構成を観てみると2005年には、40代＋50代が70%を占め、60代以上は8%であったが、2022年では、40代＋50代は46%に減少し、60代以上が31%に増加している。特に30代以下の年代は漸減傾向にあり、その減少率は17%となっており、今後高年齢化が更に進み、会員数の減少はこれまでより急速になることが予想される。

そのことから、将来を担う若手医師の教育と育成は最重要課題の一つである。新専門医制度以来、自ら検査を行わない医師が増加しその結果、診断の相違や技師への教育指導が出来ない弊害も出てきている。本会は今大きな岐路に立たされているという認識を持っており、透明性が高く、開かれた学会の構築を行うことが必須であり、一人でも多くの医師に超音波医学に興味をもってもらうことを目的に、入会金と初年度会費無料のキャンペーンを実施し正会員を増やしていきたい。

(対象者)

医学部医学科、歯学部歯学科、獣医学課程若しくは薬学部の学士号を取得した者、理工学系の学士号を取得した者又は博士号を取得した者であり、かつ満65歳に達した日以降最初の3月31日が経過していない者又はそれ以下の満年齢の者で、本会の目的に賛同して入会したもの

但し、本キャンペーンにて入会後に退会した者は、再度入会する場合にてキャンペーン対象者とならない。

(キャンペーン内容)

入会金(2,000円)、及び初年度分年会費(13,000円)を免除します。

(条件)

年会費を口座引き落としにすることを条件とする。

(キャンペーン期間)

1年間を予定している。

名 誉 会 員 推 薦

本学会名誉会員規則第4条に照らし、以下の方を推薦する。

- イジマ ヒロコ
1. 飯島尋子 氏
- カナイ ヒロシ
2. 金井 浩 氏
- シイナ ツヨシ
3. 椎名 毅 氏
- ヒライトシコ
4. 平井都始子 氏
5. Christoph F Dietrich 氏

功 労 会 員 推 薦

本学会功労会員規則第4条に照らし、以下の方を推薦する。

- イチハシ コウ
1. 市橋 光 氏
- イブキ エリ
2. 伊吹恵理 氏
- ウエキ トシハル
3. 植木敏晴 氏
- ウヅウ ノブキ
4. 工藤信樹 氏
- シマモト 広広
5. 島本佳寿広 氏
- タナカ ノブキ
6. 田中伸明 氏
- マカタ ヒサシ
7. 舩形 尚 氏

第26回特別学会賞

谷口 信行
(済生会宇都宮病院超音波センター)

中谷 敏
(大阪府済生会千里病院)

第3回工藤賞

廣岡 昌史
(愛媛大学消化器・内分泌・代謝内科学)

論文賞

第38回菊池賞

Contrast analysis in ultrafast ultrasound blood flow imaging of jugular vein(J Med Ultrasonics Vol.50, No. 2)

Masaaki Omura¹, Kunimasa Yagi², Ryo Nagaoka¹ & Hideyuki Hasegawa¹
(¹Faculty of Engineering, University of Toyama, ²School of Medicine, Kanazawa Medical University)

Acoustic radiation force impulse-induced lung hemorrhage: investigating the relationship with peak rarefactional pressure amplitude and mechanical index in rabbits(J Med Ultrasonics Vol.50, No.2)

Noriya Takayama¹, Hideki Sasanuma², Kazuma Rifu², Naotaka Nitta³, Iwaki Akiyama⁴ & Nobuyuki Taniguchi¹
(¹Department of Clinical Laboratory Medicine, Jichi Medical University, ²Division of Gastroenterological, General and Transplant Surgery, Department of Surgery, Jichi Medical University, ³Health and Medical Research Institute, National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST), ⁴Medical Ultrasound Research Center, Doshisha University)

第19回伊東賞

Right ventricular free wall longitudinal strain assessment using offline speckle tracking in COVID-19 patients requiring intensive medical care (J Med Ultrasonics Vol.50, No.3)

Tomoo Nagai, Hitomi Horinouchi, Koichiro Yoshioka & Yuji Ikari
(Division of Cardiology, Department of Internal Medicine, Tokai University School of Medicine)

The diagnostic accuracy of endoscopic ultrasound-shear wave elastography in multiple pancreatic regions for chronic pancreatitis based on the Rosemont criteria (J Med Ultrasonics Vol.50, No.4)

Shuhei Shintani¹, Osamu Inatomi¹, Kosuke Hiroe¹, Yuki Tomozawa², Akitoshi Inoue³, Hidenori Kimura², Atsushi Nishida¹, Yoshihisa Tsuji⁴, Yoshiyuki Watanabe³ & Akira Andoh¹
(¹Department of Medicine, Shiga University of Medical Science, ²Department of Endoscopy, Shiga University of Medical Science, ³Department of Radiology, Shiga University of Medical Science, ⁴Department of General Medicine, Shiga University of Medical Science)

第24回技術賞

「Micro B-Flow (マイクロ ビーフロー)の開発」
グループ代表者: 谷川俊一郎
(GEヘルスケア・ジャパン株式会社超音波製品開発部)

「SMI Generation 4 (SMI Gen4)」
グループ代表者: 郷田晃央
(キヤノンメディカルシステムズ株式会社超音波事業部超音波開発部)

第13回新人賞

[北海道地方会]
第53回北海道地方会学術集会発表【循環器】
急性期診断に心エコー図検査が有用であった急性右室心筋梗塞の1例
森下 皓旭
(手稲溪仁会病院循環器内科)

[東北地方会]
第65回東北地方会学術集会発表【基礎】
Dual-PRF + Dual-angleドブラによる2次元血流ベクトルの頑健な計測
岡田 悠希
(東北大学大学院医工学研究科)

[関東甲信越地方会]

第35回関東甲信越地方会学術集会発表【消化器】

腹部超音波検査が診断の一助となった神経内分泌腫瘍の1例

得平雅英

(杏林大学病院消化器内科)

[中部地方会]

第44回中部地方会学術集会発表【消化器】

EUS-FNAでのリンパ節生検における病理診断能と有害事象軽減を考慮した穿刺針選択

村山由季

(岐阜市民病院消化器内科)

[関西地方会]

第50回関西地方会学術集会発表【循環器】

左室壁運動が経時的に変化した非細菌性血栓性心内膜炎による多発塞栓症の一例

松浦智弘

(北播磨総合医療センター循環器内科)

[中国地方会]

第59回中国地方会学術集会発表【循環器】

血管内超音波検査(IVUS)により大動脈解離に合併した急性広範前壁心筋梗塞と診断に至り救命し得た一例

吉田直人

(鳥取大学医学部附属病院循環器・内分泌代謝内科学)

[四国地方会]

第33回四国地方会学術集会発表【消化器】

Micro B-flowにてThreads and streaks signを観察しえた肝細胞癌の一例

和泉翔太

(愛媛大学大学院消化器・内分泌・代謝内科学)

[九州地方会]

第33回九州地方会学術集会発表【循環器】

肺炎契機にdevelopmental complexと診断し得た1例

菅 優

(別府医療センター循環器内科)

【顕彰委員会】

委員長 工藤信樹

副委員長 瀬尾由広

委員

(基礎)長谷川英之 山口 匡

(総合)村田光繁

(循環器)岩瀧麻衣 岩永史郎

(消化器)北野雅之 西田 睦 日浅陽一

(腎・泌尿器)陣崎雅弘

(産婦人科)菊池昭彦

(乳腺)森田孝子

(小児科)市橋 光

オブザーバー

(基礎)秋山いわき

(乳腺)平井都始子

以上16名